

伊那都市計画基礎調査報告書

(概 要 版)

令和 6 年 2 月

長野県南箕輪村

目 次

① 人 口	
C0101 人口規模	1
C0103 将来人口	4
C0104 人口増減	7
C0105 通勤・通学移動	10
② 産 業	
C0201 産業・職業分類別就業者数	12
C0202 事業所数・従業者数・売上金額	18
③ 土地利用	
C0302 土地利用現況	29
C0304 宅地開発状況	31
C0305 農地転用状況	33
C0307 新築動向	34
C0308 条例・協定	36
④ 建 物	
C0401 建物用途別現況	38
C0402 建物階数別・構造別・建築年別・高さ別現況	40
⑤ 都市施設	
C0501 都市施設の位置・内容等	45
⑥ 交 通	
C0601 主要な幹線の断面交通・混雑度・旅行速度	46
C0603 鉄道・路面電車等の状況	48
C0604 バスの状況	49
⑧ 自然的環境等	
C0803 緑の状況	49

-
- 特に記載がない場合は、㎡の表示は1㎡未満を切り捨て、ha、%の表示は小数点第2位を四捨五入し、小数点第1位まで表示している。したがって、総数と内容の計が一致しない場合がある。

① 人口

C0101 人口規模

1) 人口総数及び増加数

南箕輪村の行政区域の人口推移をみると、増加が続いており、令和2年には15,797人となっている。平成12年から令和2年までの21年間の増減は2,393人増、17.9%の増加となっている。

用途地域指定区域の人口については、平成17年をピークに緩やかに減少していたが増加に転じている。用途地域指定外区域では行政区域の人口と同様に増加が続いている。

また、平成12年から令和2年の21年間ににおける人口増減は、用途地域指定区域では2.4%減(211人減)、用途地域指定外区域では57.8%増(2,604人増)となっており、用途地域指定外区域での増加率が高いことから、郊外への人口の滲み出しがみられる。

表1-1 人口推移

(平成12, 17, 22, 27, 令和2年国勢調査 男女, 年齢(5歳階級), 国籍総数か日本人別人口, 国勢調査調査区一覧等)

区域	H12年	H12~H17年の増減		H17年	H17~H22年の増減		H22年	H22~H27年の増減		H27年	H27~R2年の増減		R2年
	人口	人口	率	人口	人口	率	人口	人口	率	人口	人口	率	人口
行政区域	13,404	216	1.6	13,620	923	6.8	14,543	520	3.6	15,063	734	4.9	15,797
都市計画区	13,404	216	1.6	13,620	923	6.8	14,543	520	3.6	15,063	734	4.9	15,797
用途地域指定区域	8,898	145	1.6	9,043	△155	△1.7	8,888	△285	△3.2	8,603	84	1.0	8,687
用途地域指定外区域	4,506	71	1.6	4,577	1,078	23.6	5,655	805	14.2	6,460	650	10.1	7,110

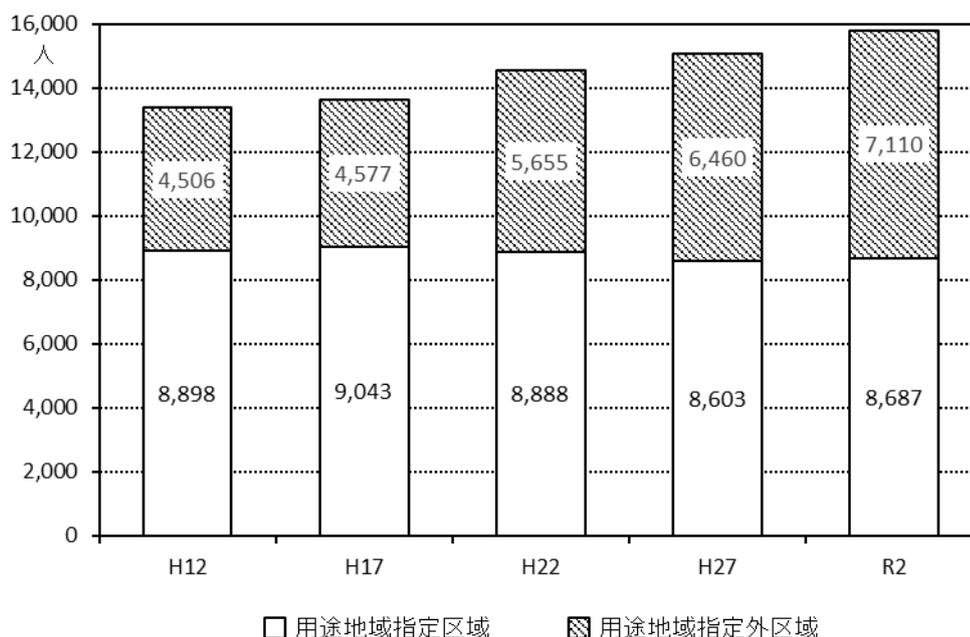


図1-1 人口推移

2) 年齢・性別人口

令和2年の5歳階級別人口をみると、男女とも40～44歳、45～49歳の人口が多くなっている。男女で比較すると59歳まではほとんどの年齢層で男性が女性を上回っているが、60歳からは、すべての年齢層で女性が上回っている。

また、平成12年と令和2年を比較すると、多くの年齢層で人口が増加しているが、20～34歳の年齢層では人口が減少している。

年齢（3区分）別人口の構成比を見ると、平成12年から令和2年までの21年間で年少人口が16.5%から15.8%（0.7%減）、生産年齢人口は67.7%から60.1%（7.6%減）、老年人口は15.9%から23.4%（7.5%増）と変化しており、少子高齢の進行については、比較的緩やかであることがわかる。

表1-2 5歳階級別年齢・性別人口推移（行政区・都市計画区域）

（平成12, 17, 22, 27, 令和2年国勢調査 男女, 年齢(5歳階級), 国籍総数か日本人別人口）

単位：人

階層	平成12年			平成17年			平成22年			平成27年			令和2年		
	総数	男	女												
0～4	736	388	348	708	369	339	786	426	360	814	417	397	796	401	395
5～9	731	355	376	749	392	357	752	386	366	821	436	385	864	426	438
10～14	739	385	354	745	370	375	798	414	384	771	389	382	834	439	395
年少人口	2,206	1,128	1,078	2,202	1,131	1,071	2,336	1,226	1,110	2,406	1,242	1,164	2,494	1,266	1,228
15～19	706	358	348	673	365	308	692	354	338	743	395	348	730	374	356
20～24	1,135	599	536	930	505	425	847	477	370	830	458	372	925	477	448
25～29	1,175	629	546	968	514	454	856	437	419	749	387	362	825	435	390
30～34	941	472	469	1,093	573	520	1,108	575	533	894	442	452	888	475	413
35～39	919	482	437	932	463	469	1,140	590	550	1,168	602	566	1,013	519	494
40～44	804	410	394	904	481	423	1,002	509	493	1,199	618	581	1,218	621	597
45～49	950	494	456	792	396	396	918	475	443	1,014	518	496	1,180	606	574
50～54	939	463	476	920	466	454	810	405	405	918	481	437	1,006	519	487
55～59	833	417	416	950	460	490	936	469	467	781	385	396	927	479	448
60～64	666	322	344	843	420	423	976	468	508	918	454	464	780	381	399
生産年齢人口	9,068	4,646	4,422	9,005	4,643	4,362	9,285	4,759	4,526	9,214	4,740	4,474	9,492	4,886	4,606
65～69	611	298	313	660	319	341	831	415	416	958	454	504	908	443	465
70～74	569	250	319	561	273	288	622	290	332	784	377	407	907	411	496
75～79	442	187	255	521	212	309	539	246	293	591	270	321	736	344	392
80～84	278	96	182	372	140	232	462	177	285	476	202	274	519	222	297
85～89	154	46	108	191	55	136	280	90	190	367	131	236	358	138	220
90～	76	21	55	102	24	78	143	31	112	201	42	159	271	71	200
老年人口	2,130	898	1,232	2,407	1,023	1,384	2,877	1,249	1,628	3,377	1,476	1,901	3,699	1,629	2,070
不詳	-	-	-	6	2	4	45	33	12	66	40	26	112	70	42
総計	13,404	6,672	6,732	13,620	6,799	6,821	14,543	7,267	7,276	15,063	7,498	7,565	15,797	7,851	7,946

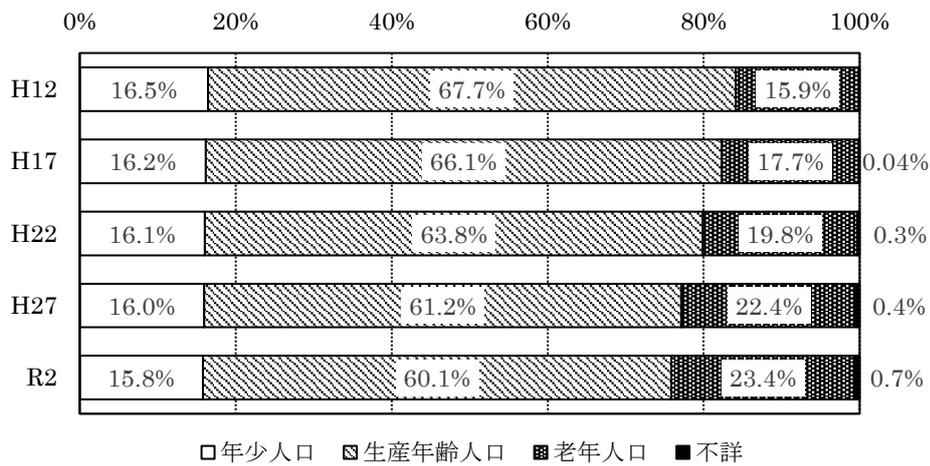
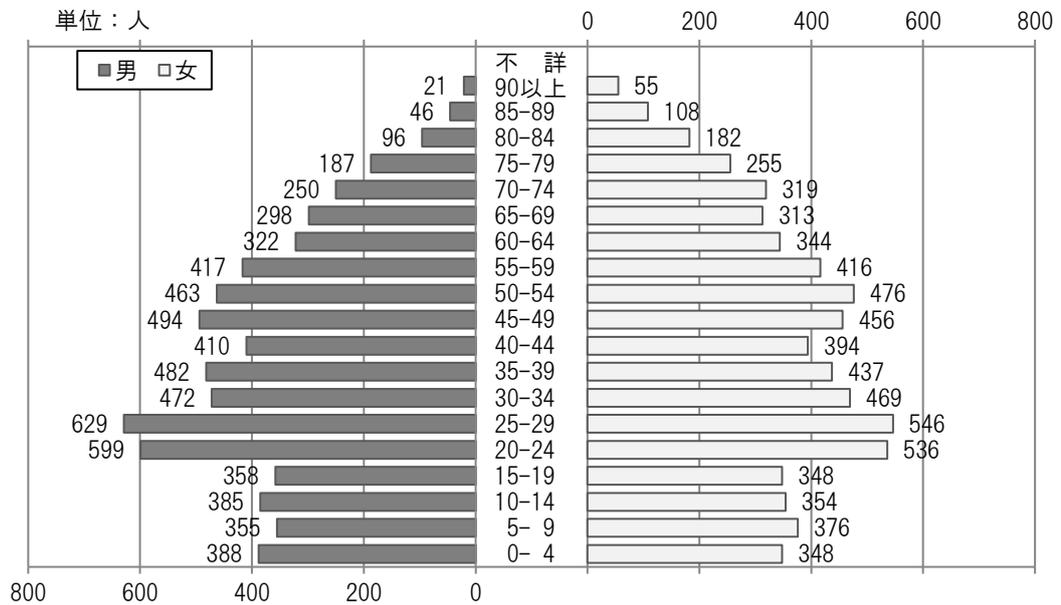


図1-2 年齢3区分別人口構成比推移 (行政区域・都市計画区域)

平成12年



令和2年

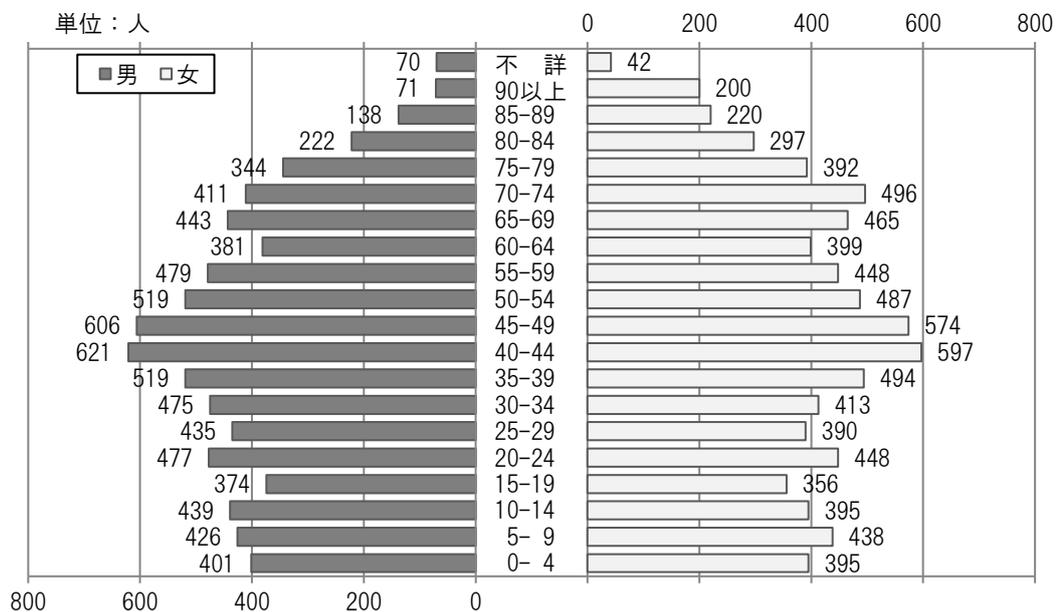


図1-3 5歳階級別年齢・性別人口 (行政区域・都市計画区域)

C0103 将来人口

国立社会保障・人口問題研究所による南箕輪村の推計人口は令和17年までは微増が続くものの、それ以降は減少に転じ、令和32年には15,882人になると推計されている。年齢3区分別人口でみると、令和2年から令和32年の増減は年少人口が334人減(13.4%減)、生産年齢人口が886人減(9.3%減)、老年人口が1,417人増(38.3%増)となっている。

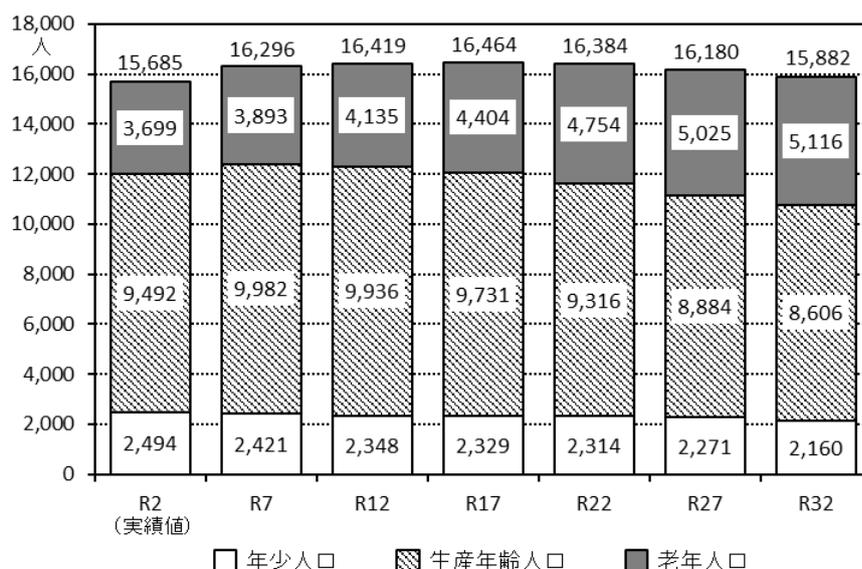
表1-3 5歳階級別人口推計

(令和2年国勢調査、日本の地域別将来推計人口(国立社会保障・人口問題研究所、令和5年推計))

単位：人

	令和2年(実績値)			令和7年			令和12年			令和17年		
	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女
0～4	796	401	395	767	393	374	763	391	372	778	399	379
5～9	864	426	438	795	401	394	772	388	384	767	385	382
10～14	834	439	395	859	421	438	813	406	407	784	391	393
年少人口	2,494	1,266	1,228	2,421	1,215	1,206	2,348	1,185	1,163	2,329	1,175	1,154
15～19	730	374	356	772	423	349	779	390	389	734	374	360
20～24	925	477	448	1,004	519	485	934	519	415	908	481	427
25～29	825	435	390	944	501	443	879	442	437	832	437	395
30～34	888	475	413	949	511	438	993	522	471	938	478	460
35～39	1,013	519	494	966	520	446	977	521	456	1,019	534	485
40～44	1,218	621	597	1,033	531	502	988	526	462	997	527	470
45～49	1,180	606	574	1,185	605	580	1,017	517	500	968	508	460
50～54	1,006	519	487	1,183	630	553	1,170	601	569	1,005	514	491
55～59	927	479	448	1,023	522	501	1,178	620	558	1,155	587	568
60～64	780	381	399	923	471	452	1,021	516	505	1,175	612	563
生産年齢人口	9,492	4,886	4,606	9,982	5,233	4,749	9,936	5,174	4,762	9,731	5,052	4,679
65～69	908	443	465	781	372	409	910	461	449	1,009	507	502
70～74	907	411	496	900	434	466	747	343	404	869	426	443
75～79	736	344	392	847	363	484	854	399	455	715	319	396
80～84	519	222	297	652	284	368	760	308	452	760	337	423
85～89	358	138	220	425	163	262	521	207	314	626	233	393
90歳以上	271	71	200	288	91	197	343	103	240	425	130	295
老年人口	3,699	1,629	2,070	3,893	1,707	2,186	4,135	1,821	2,314	4,404	1,952	2,452
年齢不詳	112	70	42	-	-	-	-	-	-	-	-	-
総計	15,797	7,851	7,946	16,296	8,155	8,141	16,419	8,180	8,239	16,464	8,179	8,285

	令和22年			令和27年			令和32年		
	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女
0～4	755	387	368	720	369	351	669	343	326
5～9	780	392	388	758	381	377	721	362	359
10～14	779	388	391	793	395	398	770	384	386
年少人口	2,314	1,167	1,147	2,271	1,145	1,126	2,160	1,089	1,071
15～19	702	357	345	697	354	343	708	360	348
20～24	840	449	391	766	408	358	755	402	353
25～29	803	409	394	737	378	359	661	338	323
30～34	896	469	427	862	442	420	788	406	382
35～39	968	497	471	929	486	443	893	460	433
40～44	1,040	541	499	990	506	484	951	495	456
45～49	975	508	467	1,017	522	495	970	491	479
50～54	953	502	451	958	501	457	1,000	516	484
55～59	994	503	491	941	490	451	947	490	457
60～64	1,145	578	567	987	496	491	933	482	451
生産年齢人口	9,316	4,813	4,503	8,884	4,583	4,301	8,606	4,440	4,166
65～69	1,160	600	560	1,127	566	561	972	486	486
70～74	966	470	496	1,110	556	554	1,077	524	553
75～79	832	396	436	927	439	488	1,064	519	545
80～84	645	273	372	750	340	410	839	379	460
85～89	615	250	365	534	209	325	622	261	361
90歳以上	536	157	379	577	176	401	542	161	381
老年人口	4,754	2,146	2,608	5,025	2,286	2,739	5,116	2,330	2,786
年齢不詳	-	-	-	-	-	-	-	-	-
総計	16,384	8,126	8,258	16,180	8,014	8,166	15,882	7,859	8,023



注) 総数に年齢不詳を含む

図1-4 年齢3区分別将来推計人口

国勢調査を基本とした人口推計によると、推計方式により数値に幅はあるものの、将来の行政区域人口は増加傾向にあることが推測される。ただし、国立社会保障・人口問題研究所にて公表しているコーホート要因法での推計値では、前述の通り令和17年以降は減少傾向となることが推計されている。

また、南箕輪村第5次総合計画における令和7年の将来目標人口は15,900人に設定されている。

表1-4 人口推計

(令和2年国勢調査、日本の地域別将来推計人口(国立社会保障・人口問題研究所、令和5年推計))

		令和2年 (基準年次)	令和7年	令和12年 (10年後)	令和17年	令和22年 (20年後)
行政区域 (都市計画区域)	実績値	15,797				
	1. 上位計画					
	南箕輪村第5次総合計画		15,900			
	南箕輪村人口ビジョン(将来展望人口)		15,894	15,949	15,879	15,800
	国土利用計画(南箕輪村計画)		15,554			
	南箕輪村都市計画マスタープラン		14,800			
	伊那都市計画区域マスタープラン			(概ね)		
	2. 推計値					
	等差式		16,395	16,993	17,591	18,189
	等比式		16,458	17,148	17,866	18,614
用途地域 指定区域	一次式		16,345	16,965	17,585	18,205
	二次式		16,345	16,968	17,591	18,214
	指数式		16,444	17,165	17,918	18,704
	べき曲線式		15,547	15,891	16,226	16,552
	コーホート要因法注 (国立社会保障・人口問題研究所)		16,296	16,419	16,464	16,384
	3. 推計値					
	等差式		8,634	8,582	8,529	8,477
	等比式		8,635	8,584	8,533	8,482
一次式		8,568	8,483	8,398	8,313	
二次式		8,650	8,564	8,478	8,392	
指数式		8,566	8,482	8,399	8,317	
べき曲線式		9,005	9,007	9,009	9,010	

注) 日本の地域別将来推計人口(令和5年推計)

【人口推計参考資料】

平成 12 年から令和 2 年までの国勢調査人口を用いた、人口推計における回帰式及び一般式は以下のとおりである。

Y：基準年次から x または n 年後における推計人口

x：基準年次（H22 x = 0）からの経過年数（15, 20, 25, 30）

n：基準年次（R 2）からの経過年数（5, 10, 15, 20）

	行政区域（都市計画区域）	用途地域指定区域
等差式	$Y = 15,797 + 119.6n$	$Y = 8,687 - 10.5n$
等比式	$Y = 15,797 \times (1 + 0.00824)^n$	$Y = 8,687 \times (1 - 0.00119)^n$
一次式	$Y = 124x + 14,485$	$Y = -17x + 8,823$
二次式	$Y = 0.33254 \times 250 + 124.58x + 14,394$	$Y = 0.20111 \times 250 - 17.24x + 8,859$
指数式	$Y = 14,458 \times 1.00862^x$	$Y = 8,822 \times 0.99804^x$
べき曲線式	$Y = \langle 84.85 + \{0.9745 \times (n+20)^{0.81824}\} \div 100 \times 15,797$	$Y = \langle 102.42 + \{0.9838 \times (n+20)^{0.07658}\} \div 100 \times 8,687$

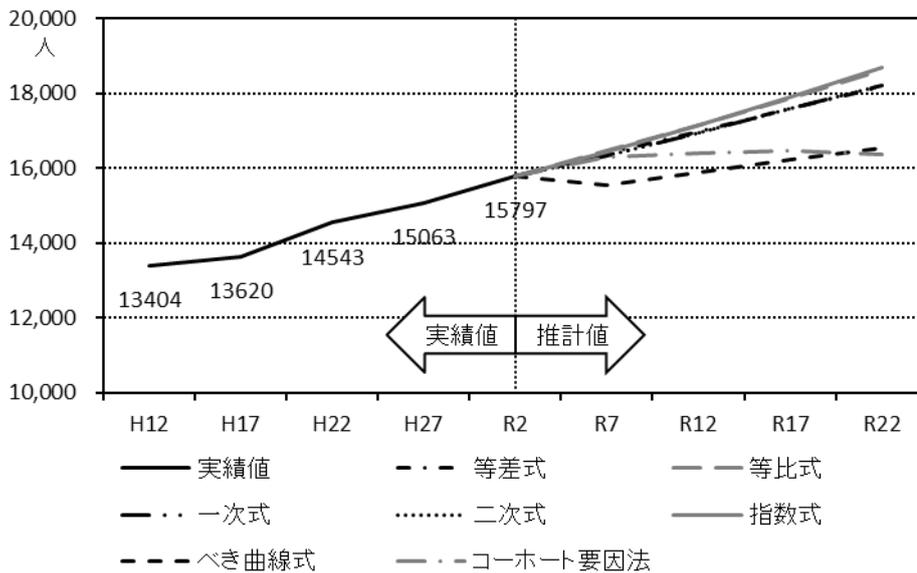


図 1 - 5 人口の推移と将来推計（行政区域）

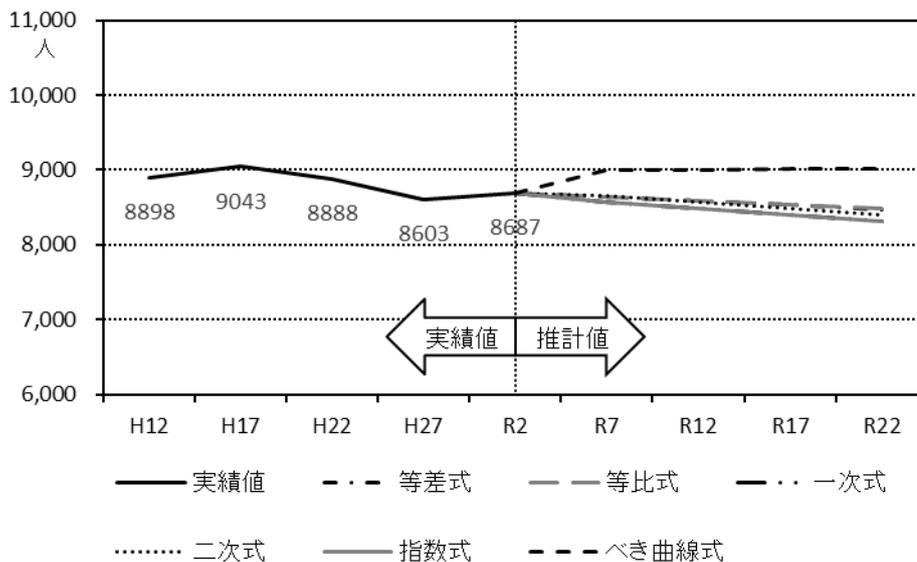


図 1 - 6 人口の推移と将来推計（用途地域指定区域）

C0104 人口増減

行政区域の平成8年から令和2年までの25年間における人口増減数は3,303人増となっている。
自然動態については自然増が続いているが、増加幅は縮小傾向にある。

また、社会動態については単年でみると減少している年もあるが、5年間合計でみると増加となっている。

全体の人口動態の推移を5年間合計の累計値でみると、増加傾向が続いており、近年は600人前後増と緩やかな増加となっている。

表1-5 人口動態推移 (南箕輪村調査(令和5年3月31日現在))

		単位：人				
年		H12年	H17年	H22年	H27年	R2年
行政区域	出生数	157	151	166	158	163
	死亡者数	74	111	120	113	141
	自然増減	83	40	46	45	22
	転入者数	1,617	1,142	726	720	743
	転出者数	1,373	1,244	851	701	639
	社会増減	244	△102	△125	19	104
	その他の増減	1	7	6	△5	11
	人口増減数	328	△55	△73	59	137
都市計画区域	出生数	157	151	166	158	163
	死亡者数	74	111	120	113	141
	自然増減	83	40	46	45	22
	転入者数	1,617	1,142	726	720	743
	転出者数	1,373	1,244	851	701	639
	社会増減	244	△102	△125	19	104
	その他の増減	1	7	6	△5	11
	人口増減数	328	△55	△73	59	137
用途地域指定区域	出生数	104	100	101	90	90
	死亡者数	49	74	73	65	78
	自然増減	55	26	28	25	12
	転入者数	1,073	758	444	411	409
	転出者数	911	826	520	400	351
	社会増減	162	△68	△76	11	58
	その他の増減	1	5	4	△3	6
	人口増減数	218	△37	△44	33	76

年		H8~12年	H13~17年	H18~22年	H23~27年	H28~R2年
行政区域	出生数	739	778	760	801	758
	死亡者数	403	529	540	585	682
	自然増減	336	249	220	216	76
	転入者数	7,218	6,098	5,481	3,909	3,844
	転出者数	6,219	6,084	5,176	3,528	3,274
	社会増減	999	14	305	381	570
	その他の増減	10	△10	6	△78	9
	人口増減数	1,345	253	531	519	655
累計	1,345	1,598	2,129	2,648	3,303	
都市計画区域	出生数	739	778	760	801	758
	死亡者数	403	529	540	585	682
	自然増減	336	249	220	216	76
	転入者数	7,218	6,098	5,481	3,909	3,844
	転出者数	6,219	6,084	5,176	3,528	3,274
	社会増減	999	14	305	381	570
	その他の増減	10	△10	6	△78	9
	人口増減数	1,345	253	531	519	655
累計	1,345	1,598	2,129	2,648	3,303	
用途地域指定区域	出生数	492	517	495	484	430
	死亡者数	268	351	352	353	387
	自然増減	224	166	143	131	43
	転入者数	4,807	4,048	3,601	2,360	2,180
	転出者数	4,141	4,039	3,392	2,127	1,856
	社会増減	666	9	209	233	324
	その他の増減	8	△7	5	△48	6
	人口増減数	898	168	357	316	373
累計	898	1,066	1,423	1,739	2,112	

注) 用途地域指定区域の数値は、行政区域に占める人口の割合により按分した数値(参考値)

行政区域の平成7年から令和4年までの28年間における人口増減数は4,052人増となっている。
 自然動態については自然増が続いていたが、平成30年、令和4年は減少など増加幅は縮小傾向にある。

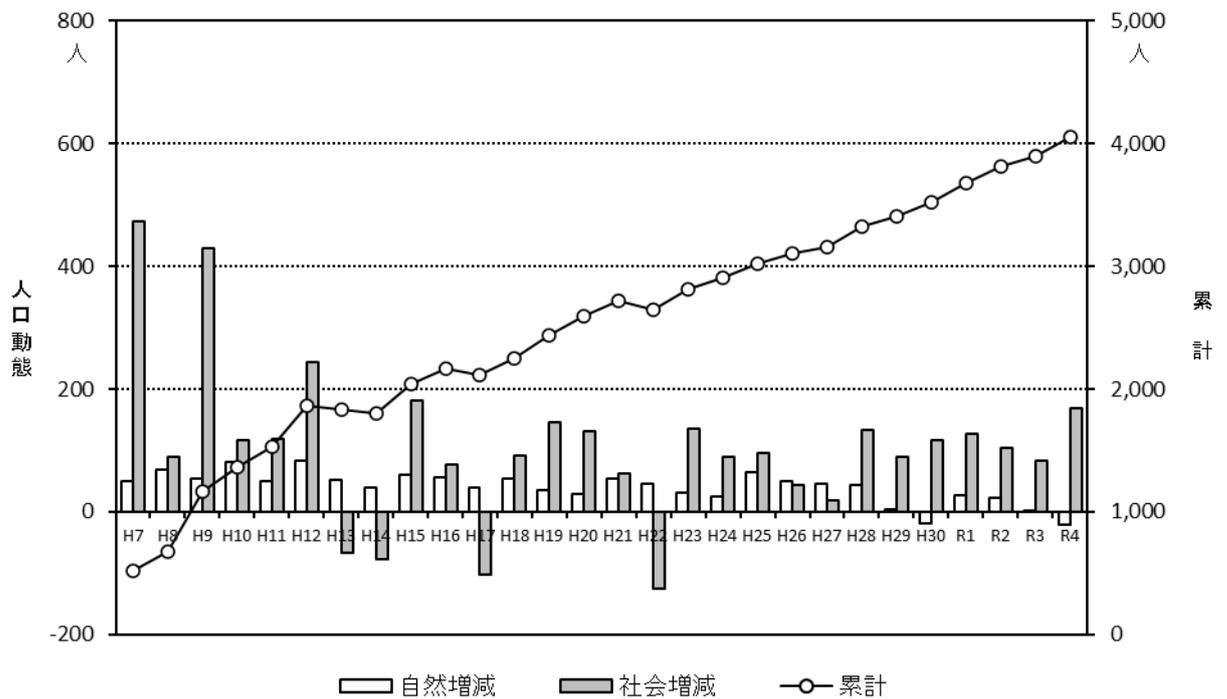
また、社会動態についてはほとんどの年で社会増となっており、平成7年、平成9年は400人以上増と特に多くなっている。

全体の人口動態の推移を累計値でみると、増加傾向が続いており、近年は100人前後増と緩やかな増加となっている。

表1-6 人口動態推移（平成7～令和4年）（南箕輪村調査(令和5年3月31日現在)）

		単位：人															
年		H7年	H8年	H9年	H10年	H11年	H12年	H13年	H14年	H15年	H16年	H17年	H18年	H19年	H20年		
行政区域	出生数	138	140	144	153	145	157	174	150	158	145	151	154	138	142		
	死亡者数	89	71	90	72	96	74	122	110	97	89	111	101	102	112		
	自然増減	49	69	54	81	49	83	52	40	61	56	40	53	36	30		
	転入者数	1,348	1,204	1,493	1,448	1,456	1,617	1,213	1,172	1,295	1,276	1,142	1,205	1,314	1,233		
	転出者数	874	1,115	1,063	1,331	1,337	1,373	1,279	1,250	1,113	1,198	1,244	1,114	1,168	1,102		
	社会増減	474	89	430	117	119	244	△66	△78	182	78	△102	91	146	131		
	その他の増減	△8	6	△2	7	△2	1	△9	2	0	△10	7	△2	△2	0		
	人口増減数	515	164	482	205	166	328	△23	△36	243	124	△55	142	180	161		
	累計	515	679	1,161	1,366	1,532	1,860	1,837	1,801	2,044	2,168	2,113	2,255	2,435	2,596		
	都市計画区域	出生数	138	140	144	153	145	157	174	150	158	145	151	154	138	142	
死亡者数		89	71	90	72	96	74	122	110	97	89	111	101	102	112		
自然増減		49	69	54	81	49	83	52	40	61	56	40	53	36	30		
転入者数		1,348	1,204	1,493	1,448	1,456	1,617	1,213	1,172	1,295	1,276	1,142	1,205	1,314	1,233		
転出者数		874	1,115	1,063	1,331	1,337	1,373	1,279	1,250	1,113	1,198	1,244	1,114	1,168	1,102		
社会増減		474	89	430	117	119	244	△66	△78	182	78	△102	91	146	131		
その他の増減		△8	6	△2	7	△2	1	△9	2	0	△10	7	△2	△2	0		
人口増減数		515	164	482	205	166	328	△23	△36	243	124	△55	142	180	161		
累計		515	679	1,161	1,366	1,532	1,860	1,837	1,801	2,044	2,168	2,113	2,255	2,435	2,596		
用途地域指定区域		出生数	92	93	96	102	97	104	116	100	105	96	100	102	92	94	
	死亡者数	59	47	60	48	64	49	81	73	64	59	74	67	68	74		
	自然増減	33	46	36	54	33	55	35	27	41	37	26	35	24	20		
	転入者数	899	803	995	965	971	1,073	805	778	860	847	758	800	872	819		
	転出者数	583	743	709	887	891	911	849	830	739	795	826	740	775	732		
	社会増減	316	60	286	78	80	162	△44	△52	121	52	△68	60	97	87		
	その他の増減	△5	4	△1	5	△1	1	△6	1	0	△7	5	△1	△1	0		
	人口増減数	344	110	321	137	112	218	△15	△24	162	82	△37	94	120	107		
	累計	344	454	775	912	1,024	1,242	1,227	1,203	1,365	1,447	1,410	1,504	1,624	1,731		
	行政区域	出生数	H21年	H22年	H23年	H24年	H25年	H26年	H27年	H28年	H29年	H30年	R元年	R2年	R3年	R4年	
出生数		160	166	154	153	158	178	158	175	141	126	153	163	130	156		
死亡者数		105	120	122	128	94	128	113	132	138	144	127	141	129	178		
自然増減		55	46	32	25	64	50	45	43	3	△18	26	22	1	△22		
転入者数		1,003	726	852	801	794	742	720	747	731	790	833	743	739	885		
転出者数		941	851	717	712	699	699	701	614	641	674	706	639	655	717		
社会増減		62	△125	135	89	95	43	19	133	90	116	127	104	84	168		
その他の増減		4	6	4	△23	△38	△16	△5	△13	△14	15	10	11	△2	5		
人口増減数		121	△73	171	91	121	77	59	163	79	113	163	137	83	151		
累計		2,717	2,644	2,815	2,906	3,027	3,104	3,163	3,326	3,405	3,518	3,681	3,818	3,901	4,052		
都市計画区域	出生数	160	166	154	153	158	178	158	175	141	126	153	163	130	156		
	死亡者数	105	120	122	128	94	128	113	132	138	144	127	141	129	178		
	自然増減	55	46	32	25	64	50	45	43	3	△18	26	22	1	△22		
	転入者数	1,003	726	852	801	794	742	720	747	731	790	833	743	739	885		
	転出者数	941	851	717	712	699	699	701	614	641	674	706	639	655	717		
	社会増減	62	△125	135	89	95	43	19	133	90	116	127	104	84	168		
	その他の増減	4	6	4	△23	△38	△16	△5	△13	△14	15	10	11	△2	5		
	人口増減数	121	△73	171	91	121	77	59	163	79	113	163	137	83	151		
	累計	2,717	2,644	2,815	2,906	3,027	3,104	3,163	3,326	3,405	3,518	3,681	3,818	3,901	4,052		
	用途地域指定区域	出生数	106	101	94	94	97	109	90	100	81	72	87	90	71	86	
死亡者数		70	73	75	78	57	78	65	75	79	82	73	78	71	98		
自然増減		36	28	19	16	40	31	25	25	2	△10	14	12	0	△12		
転入者数		666	444	521	490	485	453	411	427	417	451	476	409	406	487		
転出者数		625	520	438	435	427	427	400	351	366	385	403	351	360	394		
社会増減		41	△76	83	55	58	26	11	76	51	66	73	58	46	93		
その他の増減		3	4	2	△14	△23	△10	△3	△7	△8	9	6	6	△1	3		
人口増減数		80	△44	104	57	75	47	33	94	45	65	93	76	45	84		
累計		1,811	1,767	1,871	1,928	2,003	2,050	2,083	2,177	2,222	2,287	2,380	2,456	2,501	2,585		

注) 用途地域指定区域の数値は、行政区域に占める人口の割合により按分した数値(参考値)



注) 累計にその他の増減を含む

図1-7 人口動態の推移 (行政区域)

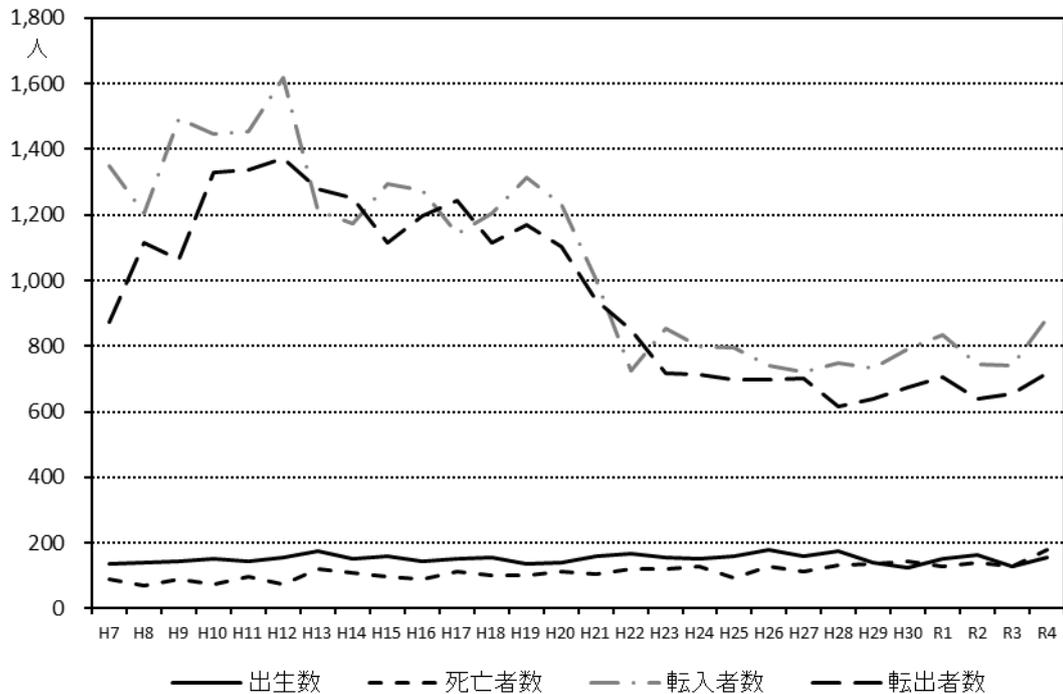


図1-8 人口動態の推移内訳 (行政区域)

C0105 通勤・通学移動

平成12年から令和2年までの就業・通学者による流出・流入人口をみると、常住地による就業・通学者数は平成17年に一時減少したものの、その後は増加が続いている。一方、従業・通学地による就業・通学者数は減少が続いていたものの、令和2年に増加に転じている。令和2年の常住地による就業・通学者数は9,013人、従業・通学地による就業・通学者数は7,505人となっており、平成12年と比較すると、前者で約670人、後者で約20人増加している。

平成12年から令和2年の流出先・流入先を市町村別に比較すると、流出先・流入先ともに第1位は伊那市となっており、流出者数は約380人増加、流入者数は約60人減少している。

また、令和2年における流出・流入率は、順に62.1%、54.1%と流出が流入を上回っている。

表1-7 流出・流入別人口推移

(平成12, 17, 22, 27, 令和2年国勢調査、常住地・従業地における就業者・通学者数)

	常住地による			従業・通学地			従/常 就業・ 通学者比率
	就業・ 通学者数	就業・ 通学者数	流出率	就業・ 通学者数	就業・ 通学者数	流出率	
平成12年	人 8,344	人 4,717	% 56.5	人 7,486	人 3,859	% 51.5	% 89.7
平成17年	8,190	4,724	57.7	7,623	4,157	54.5	93.1
平成22年	8,409	4,975	59.2	7,571	4,083	53.9	90.0
平成27年	8,513	5,052	59.3	7,463	3,982	53.4	87.7
令和2年	9,013	5,598	62.1	7,505	4,062	54.1	83.3

表1-8 市町村別流出・流入先人口推移

(平成12, 17, 22, 27, 令和2年国勢調査、常住地・従業地における就業者・通学者数)

	流出先								
	流出率第1位			流出率第2位			流出率第3位		
	市町村名	流出者数	流出率	市町村名	流出者数	流出率	市町村名	流出者数	流出率
平成12年	人 伊那市	2,350	% 28.2	人 箕輪町	1,118	13.4	人 辰野町	325	3.9
平成17年	2,393	29.2	1,019	12.4	346	4.2			
平成22年	2,451	29.1	1,140	13.6	370	4.4			
平成27年	2,446	28.7	1,051	12.3	409	4.8			
令和2年	2,727	30.3	1,169	13.0	448	5.0			

	流出先					
	流出率第4位			流出率第5位		
	市町村名	流出者数	流出率	市町村名	流出者数	流出率
平成12年	人 駒ヶ根市	302	% 3.6	人 宮田村	110	1.3
平成17年	283	3.5	116	1.4		
平成22年	333	4.0	113	1.3		
平成27年	367	4.3	105	1.2		
令和2年	379	4.2	171	1.9		

	流入先								
	流入率第1位			流入率第2位			流入率第3位		
	市町村名	流入者数	流入率	市町村名	流入者数	流入率	市町村名	流入者数	流入率
平成12年	人 伊那市	2,104	% 28.1	人 箕輪町	699	9.3	人 駒ヶ根市	275	3.7
平成17年	2,166	28.4	798	10.5	251	3.3			
平成22年	2,223	29.4	792	10.5	255	3.4			
平成27年	2,065	27.7	847	11.3	辰野町	284	3.8		
令和2年	2,047	27.3	888	11.8	287	3.8			

	流入先					
	流入率第4位			流入率第5位		
	市町村名	流入者数	流入率	市町村名	流入者数	流入率
平成12年	人 辰野町	233	% 3.1	人 高遠町	123	1.6
平成17年	246	3.2	105	1.4		
平成22年	247	3.3	113	1.5		
平成27年	駒ヶ根市	214	2.9	102	1.4	
令和2年	258	3.4	109	1.5		

注1) 常住地による就業・通学者数とは、当該都市に常住する(夜間人口ベース)就業・通学者を言う

従業・通学地による就業・通学者数とは、当該都市に就業・通学する(昼間人口ベース)就業・通学者を言う

注2) 流出率=流出就業・通学者数/常住地による就業・通学者数×100

流入率=流入就業・通学者数/従業・通学地による就業・通学者数×100

注3) (従/常)就業・通学者比率=従業・通学地による就業・通学者数/常住地による就業・通学者数×100

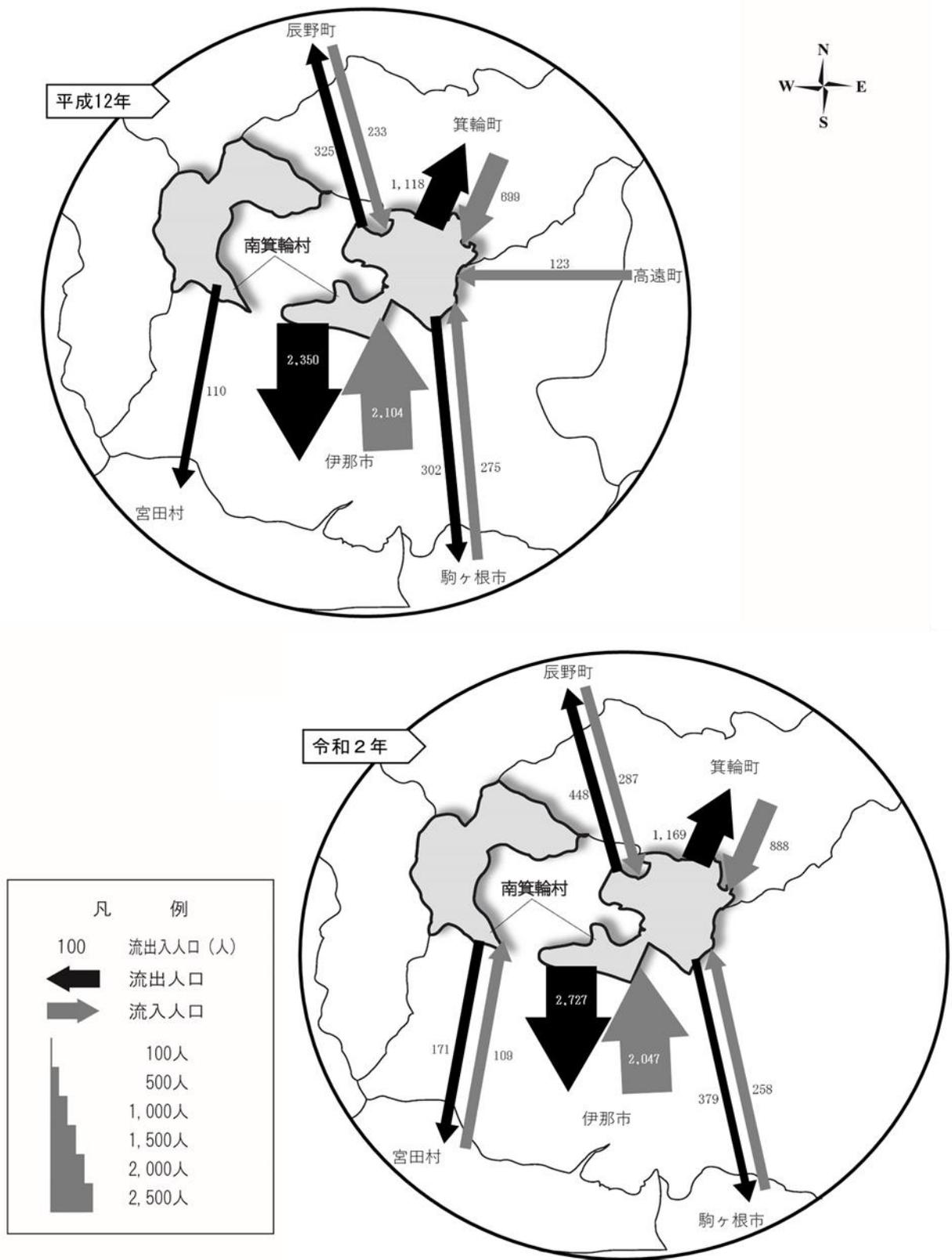


図1-9 流出・流入人口

② 産 業

C0201 産業・職業大分類別就業者数

1) 産業大分類別就業者数

常住地による産業大分類別就業者数の推移をみると、第1次産業人口は減少傾向、第2次産業人口は横ばい、第3次産業人口は増加傾向にある。従業地による産業大分類別就業者数の推移については、常住地と同様に、第1次産業人口は減少傾向、第2次産業人口は横ばい、第3次産業人口は増加傾向にある。

表2-1 常住地による産業大分類別就業者数推移

(平成12, 17, 22, 27, 令和2年国勢調査 産業(大分類), 常住地又は従業地・通学地別就業者数)

産業大分類	平成12年		平成17年	
	就業者数	構成比	就業者数	構成比
	人	%	人	%
A. 農業	573	7.7	634	9.8
B. 林業、狩猟業	7	0.1	9	0.1
C. 漁業、水産養殖業	3	0.04	2	0.03
第1次産業合計	583	7.8	645	10.0
D. 鉱業	1	0.01	1	0.02
E. 建設業	688	9.2	603	9.3
F. 製造業	2,871	38.4	2,481	38.3
第2次産業合計	3,560	47.6	3,085	47.7
G. 卸売・小売業・飲食店	1,138	15.2	1,256	19.4
H. 金融・保険業	105	1.4	100	1.5
I. 不動産業	25	0.3	30	0.5
J. 運輸・通信業	358	4.8	328	5.1
K. 電気・ガス・水道業	24	0.3	21	0.3
L. サービス業	1,513	20.2	795	12.3
M. 公務	164	2.2	155	2.4
第3次産業合計	3,327	44.5	2,685	41.5
N. 分類不能の産業	3	0.04	57	0.9
合 計	7,473	100.0	6,472	100.0

産業大分類	平成22年		平成27年		令和2年	
	就業者数	構成比	就業者数	構成比	就業者数	構成比
	人	%	人	%	人	%
A. 農業、林業	545	7.2	509	6.7	465	5.6
うち農業	535	7.1	492	6.4	451	5.5
B. 漁業	-	-	-	-	-	-
第1次産業合計	545	7.2	509	6.7	465	5.6
C. 鉱業、採石業、砂利採取業	2	0.03	1	0.01	5	0.06
D. 建設業	518	6.8	467	6.1	510	6.2
E. 製造業	2,362	31.2	2,395	31.3	2,630	31.9
第2次産業合計	2,882	38.1	2,863	37.4	3,145	38.1
F. 電気・ガス・熱供給・水道業	27	0.4	30	0.4	25	0.3
G. 情報通信業	57	0.8	58	0.8	63	0.8
H. 運輸業、郵便業	282	3.7	274	3.6	338	4.1
I. 卸売業、小売業	912	12.0	882	11.5	982	11.9
J. 金融業、保険業	113	1.5	104	1.4	128	1.6
K. 不動産業、物品賃貸業	55	0.7	55	0.7	67	0.8
L. 学術研究、専門・技術サービス業	201	2.7	176	2.3	199	2.4
M. 宿泊業、飲食サービス業	395	5.2	371	4.8	402	4.9
N. 生活関連サービス業、娯楽業	242	3.2	245	3.2	247	3.0
O. 教育、学習支援業	395	5.2	393	5.1	418	5.1
P. 医療、福祉	694	9.2	918	12.0	1,111	13.5
Q. 複合サービス事業	68	0.9	94	1.2	91	1.1
R. サービス業（他に分類されないもの）	275	3.6	318	4.2	312	3.8
S. 公務（他に分類されるものを除く）	155	2.0	175	2.3	236	2.9
第3次産業合計	3,871	51.1	4,093	53.5	4,619	55.9
T. 分類不能の産業	272	3.6	189	2.5	27	0.3
合 計	7,570	100.0	7,654	100.0	8,256	100.0

注) 「-」は該当数値なし

表2-2 従業地による産業大分類別就業者数推移

(平成12, 17, 22, 27, 令和2年国勢調査 産業(大分類), 常驻地又は従業地・通学地別就業者数)

産業大分類	平成12年		産業大分類	平成17年	
	就業者数 人	構成比 %		就業者数 人	構成比 %
A. 農業	570	8.7	A. 農業	638	9.5
B. 林業	1	0.02	B. 林業	3	0.04
C. 漁業	3	0.05	C. 漁業	1	0.01
第1次産業合計	574	8.8	第1次産業合計	642	9.5
D. 鉱業	-	-	D. 鉱業	-	-
E. 建設業	631	9.6	E. 建設業	501	7.5
F. 製造業	2,318	35.4	F. 製造業	2,230	33.2
第2次産業合計	2,949	45.0	第2次産業合計	2,731	40.6
G. 電気・ガス・熱供給・水道業	13	0.2	G. 電気・ガス・熱供給・水道業	10	0.1
H. 運輸・通信業	614	9.4	H. 情報通信業	67	1.0
I. 卸売・小売業、飲食店	1,021	15.6	I. 運輸業	558	8.3
J. 金融・保険業	37	0.6	J. 卸売・小売業	1,011	15.0
K. 不動産業	25	0.4	K. 金融・保険業	44	0.7
L. サービス業	1,197	18.3	L. 不動産業	24	0.4
M. 公務(他に分類されないもの)	111	1.7	M. 飲食店、宿泊業	193	2.9
第3次産業合計	3,018	46.1	N. 医療、福祉	370	5.5
N. 分類不能の産業	6	0.09	O. 教育、学習支援業	332	4.9
合計	6,547	100.0	P. 複合サービス事業	94	1.4
			Q. サービス業(他に分類されないもの)	515	7.7
			R. 公務(他に分類されないもの)	94	1.4
			第3次産業合計	3,312	49.3
			S. 分類不能の産業	39	0.6
			合計	6,724	100.0

産業大分類	平成22年		平成27年		令和2年	
	就業者数 人	構成比 %	就業者数 人	構成比 %	就業者数 人	構成比 %
A. 農業、林業	537	8.0	492	7.3	453	6.6
うち農業	536	8.0	488	7.3	449	6.6
B. 漁業	1	0.01	1	0.01	-	-
第1次産業合計	538	8.0	493	7.4	453	6.6
C. 鉱業、採石業、砂利採取業	-	-	1	0.01	-	-
D. 建設業	439	6.5	400	6.0	372	5.4
E. 製造業	2,060	30.7	2,069	30.9	2,065	30.2
第2次産業合計	2,499	37.3	2,470	36.9	2,437	35.7
F. 電気・ガス・熱供給・水道業	12	0.2	15	0.2	10	0.1
G. 情報通信業	86	1.3	63	0.9	75	1.1
H. 運輸業、郵便業	538	8.0	516	7.7	569	8.3
I. 卸売業、小売業	857	12.8	785	11.7	870	12.7
J. 金融業、保険業	55	0.8	52	0.8	49	0.7
K. 不動産業、物品賃貸業	45	0.7	54	0.8	65	1.0
L. 学術研究、専門・技術サービス業	90	1.3	86	1.3	103	1.5
M. 宿泊業、飲食サービス業	315	4.7	292	4.4	315	4.6
N. 生活関連サービス業、娯楽業	226	3.4	245	3.7	243	3.6
O. 教育、学習支援業	365	5.4	400	6.0	427	6.2
P. 医療、福祉	446	6.6	595	8.9	699	10.2
Q. 複合サービス事業	49	0.7	87	1.3	68	1.0
R. サービス業(他に分類されないもの)	175	2.6	227	3.4	247	3.6
S. 公務(他に分類されるものを除く)	107	1.6	136	2.0	163	2.4
第3次産業合計	3,366	50.2	3,553	53.0	3,903	57.1
T. 分類不能の産業	304	4.5	185	2.8	42	0.6
合計	6,707	100.0	6,701	100.0	6,835	100.0

注) 「-」は該当数値なし

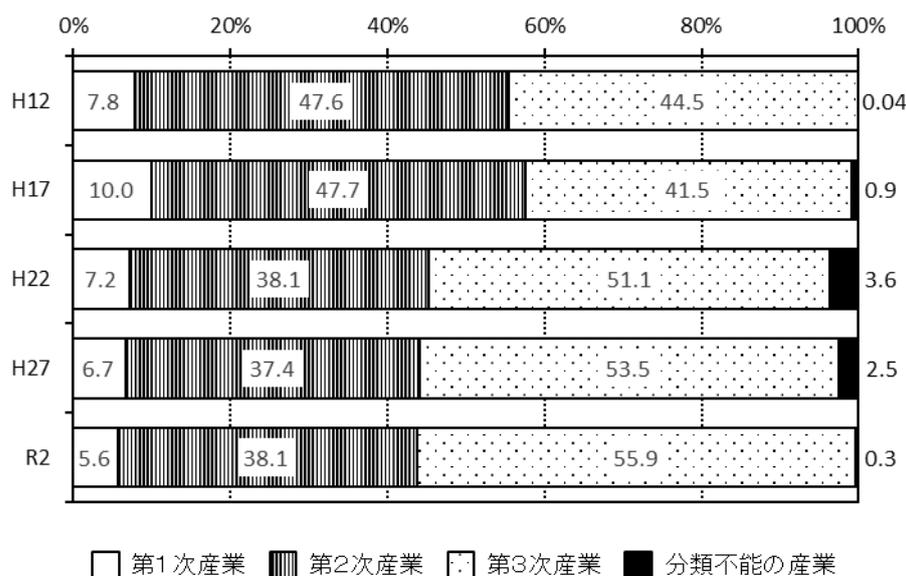


図 2-1 常住地による産業 3 区分別人口構成比推移

産業 3 区分別人口推計

常住地による産業 3 区分別人口推計によると、推計方式により数値に幅はあるものの第 1 次産業人口及び第 2 次産業人口は減少傾向、第 3 次産業人口は増加傾向にあることが推測される。

令和 22 年の一次式による推計値の構成比をみると、第 1 次産業人口は 3.8%、第 2 次産業人口は 27.8%、第 3 次産業人口は 68.4%となることが推測される。

表 2-3 常住地による産業 3 区分別人口推計

(平成 12, 17, 22, 27, 令和 2 年国勢調査 産業(大分類), 常住地又は従業地・通学地別就業者数)

単位：人

第 1 次産業人口	平成 12 年	平成 17 年	平成 22 年	平成 27 年	令和 2 年	令和 7 年	令和 12 年	令和 17 年	令和 22 年
実績値	583	645	545	509	465				
推計値 等差式						435	406	376	347
等比式						439	415	392	370
一次式						444	409	374	339
二次式						461	424	387	349
指数式						443	413	386	360

第 2 次産業人口	平成 12 年	平成 17 年	平成 22 年	平成 27 年	令和 2 年	令和 7 年	令和 12 年	令和 17 年	令和 22 年
実績値	3,560	3,085	2,882	2,863	3,145				
推計値 等差式						3,041	2,938	2,834	2,731
等比式						3,049	2,956	2,866	2,778
一次式						2,792	2,687	2,582	2,477
二次式						2,567	2,461	2,356	2,251
指数式						2,810	2,721	2,635	2,551

第 3 次産業人口	平成 12 年	平成 17 年	平成 22 年	平成 27 年	令和 2 年	令和 7 年	令和 12 年	令和 17 年	令和 22 年
実績値	3,327	2,685	3,871	4,093	4,619				
推計値 等差式						4,942	5,265	5,588	5,911
等比式						5,013	5,442	5,907	6,412
一次式						4,904	5,299	5,694	6,089
二次式						4,742	5,141	5,541	5,940
指数式						5,051	5,626	6,266	6,980

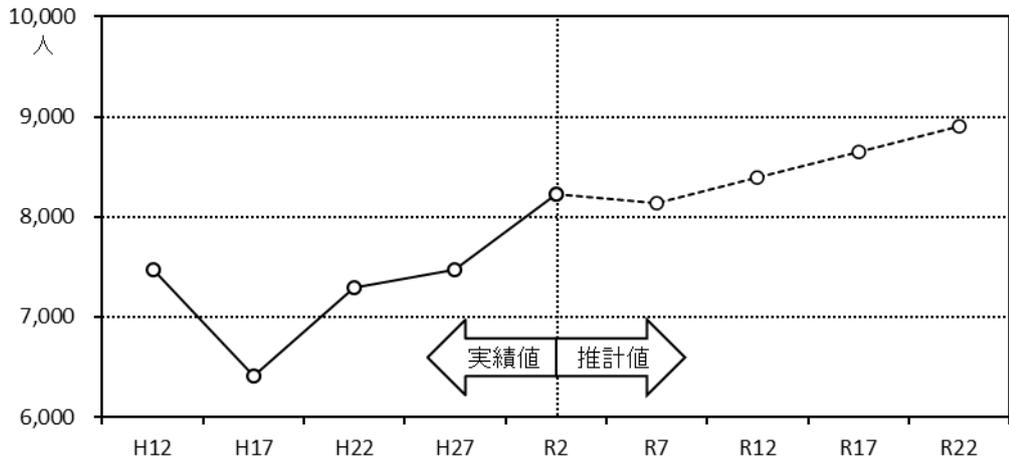


図 2-2 常住地による産業人口推計 (一次式による)

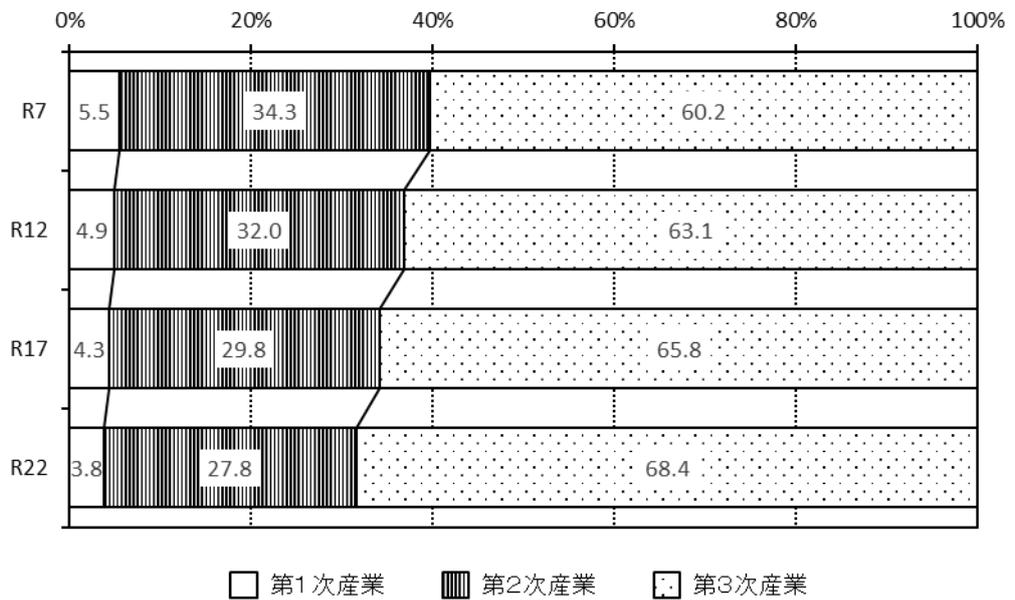


図 2-3 常住地による産業3区分別人口推計構成比 (一次式による)

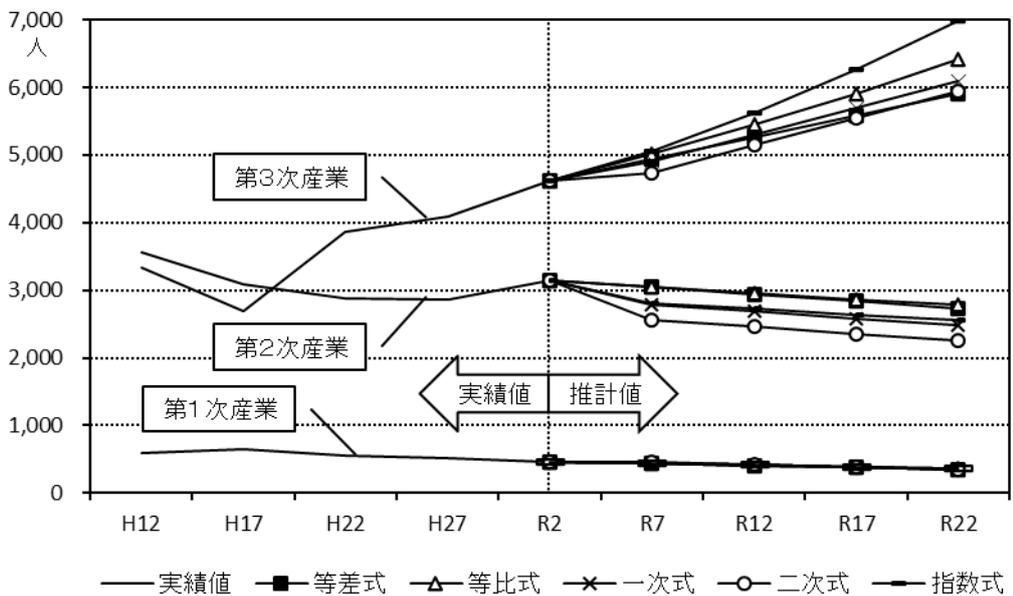


図 2-4 常住地による産業3区分別人口推計

2) 職業大分類別就業者数

令和2年の職業大分類別人口をみると、順位に差はあるものの常住地・従業地ともに、専門的・技術的職業従事者、事務従事者、生産工程従事者が上位を占めている。就業者数が最も多い職業は、常住地・従業地ともに生産工程従事者で、前者が2,043人(24.7%)、後者が1,587人(23.2%)となっている。

表2-4 常住地による職業大分類別就業者数推移

(平成12, 17, 22, 27, 令和2年国勢調査 職業(大分類), 常住地又は従業地・通学地別就業者数)

職業大分類	平成12年		平成17年	
	就業者数	構成比	就業者数	構成比
A. 専門的・技術的職業従事者	902	12.1	898	12.2
B. 管理的職業従事者	170	2.3	137	1.9
C. 事務従事者	1,143	15.3	1,170	15.9
D. 販売従事者	712	9.5	699	9.5
E. F. 農林・漁業従事者	575	7.7	624	8.5
G. 採鉱・採石作業	-	-	-	-
H. 運輸・通信従事者	227	3.0	189	2.6
I. 技能工・生産工程作業	3,238	43.3	2,953	40.1
J. 保安職業従事者	32	0.4	43	0.6
K. サービス職業従事者	471	6.3	597	8.1
L. 分類不能の職業	3	0.04	59	0.8
合計	7,473	100.0	7,369	100.0

職業大分類	平成22年		平成27年		令和2年	
	就業者数	構成比	就業者数	構成比	就業者数	構成比
A. 管理的職業従事者	143	1.9	147	1.9	140	1.7
B. 専門的・技術的職業従事者	1,162	15.4	1,257	16.4	1,468	17.8
C. 事務従事者	1,143	15.1	1,208	15.8	1,381	16.7
D. 販売従事者	702	9.3	673	8.8	735	8.9
E. サービス職業従事者	773	10.2	832	10.9	884	10.7
F. 保安職業従事者	49	0.6	56	0.7	63	0.8
G. 農林漁業従事者	533	7.0	511	6.7	461	5.6
H. 生産工程従事者	1,842	24.3	1,809	23.6	2,043	24.7
I. 輸送・機械運転従事者	190	2.5	191	2.5	223	2.7
J. 建設・採掘従事者	332	4.4	301	3.9	298	3.6
K. 運搬・清掃・包装等従事者	433	5.7	481	6.3	533	6.5
L. 分類不能の職業	268	3.5	188	2.5	27	0.3
合計	7,570	100.0	7,654	100.0	8,256	100.0

注) 「-」は該当数値なし

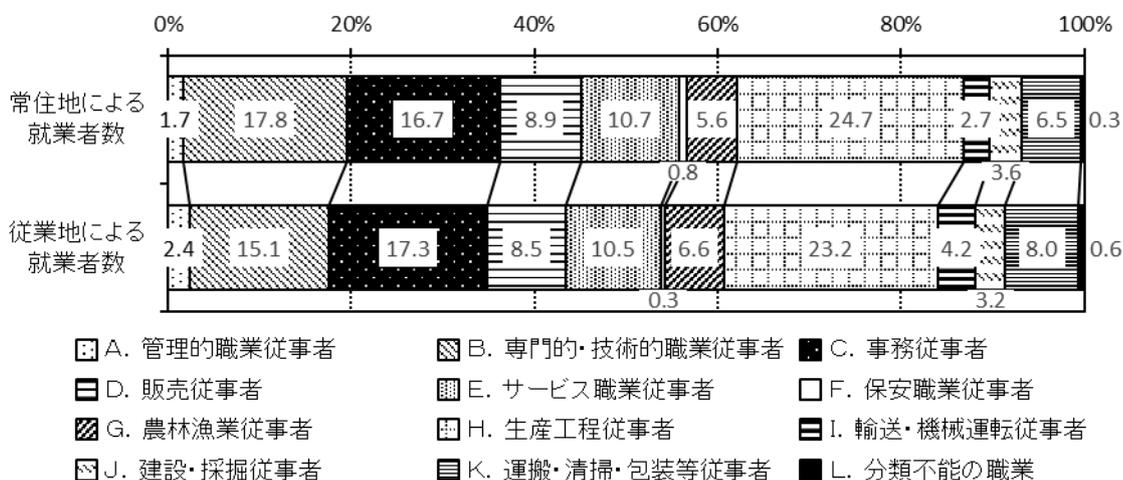


図2-5 職業大分類別人口構成比 (令和2年)

表 2-5 従業地による職業大分類別就業者数推移

(平成 12, 17, 22, 27, 令和 2 年国勢調査 職業(大分類), 常住地又は従業地・通学地別就業者数)

職業大分類	平成12年		平成17年	
	就業者数	構成比	就業者数	構成比
	人	%	人	%
A. 専門的・技術的職業従事者	707	10.8	728	10.8
B. 管理的職業従事者	176	2.7	169	2.5
C. 事務従事者	1,092	16.7	1,101	16.4
D. 販売従事者	563	8.6	642	9.5
E. サービス職業従事者	365	5.6	472	7.0
F. 保安職業従事者	12	0.2	16	0.2
G. 農林漁業作業者	572	8.7	629	9.4
H. 運輸・通信従事者	346	5.3	310	4.6
I. 生産工程・労務作業者	2,707	41.3	2,617	38.9
J. 分類不能の職業	7	0.1	40	0.6
合計	6,547	100.0	6,724	100.0

職業大分類	平成22年		平成27年	
	就業者数	構成比	就業者数	構成比
	人	%	人	%
A. 管理的職業従事者	189	2.8	176	2.6
B. 専門的・技術的職業従事者	812	12.1	948	14.1
C. 事務従事者	976	14.6	1,058	15.8
D. 販売従事者	581	8.7	539	8.0
E. サービス職業従事者	630	9.4	707	10.6
F. 保安職業従事者	15	0.2	15	0.2
G. 農林漁業従事者	524	7.8	489	7.3
H. 生産工程従事者	1,603	23.9	1,531	22.8
I. 輸送・機械運転従事者	306	4.6	322	4.8
J. 建設・採掘従事者	290	4.3	260	3.9
K. 運搬・清掃・包装等従事者	483	7.2	476	7.1
L. 分類不能の職業	298	4.4	180	2.7
合計	6,707	100.0	6,701	100.0

職業大分類	令和2年	
	就業者数	構成比
	人	%
A. 管理的職業従事者	165	2.4
B. 専門的・技術的職業従事者	1,035	15.1
C. 事務従事者	1,185	17.3
D. 販売従事者	578	8.5
E. サービス職業従事者	718	10.5
F. 保安職業従事者	23	0.3
G. 農林漁業従事者	448	6.6
H. 生産工程従事者	1,587	23.2
I. 輸送・機械運転従事者	287	4.2
J. 建設・採掘従事者	218	3.2
K. 運搬・清掃・包装等従事者	550	8.0
L. 分類不能の職業	41	0.6
合計	6,835	100.0

C0202 事業所数・従業者数・売上金額

1) 産業大分類別事業所数及び従業者数

平成28年における事業所数は572事業所であり、そのうち卸売業、小売業が134事業所(23.4%)、製造業が112事業所(19.6%)、建設業が64事業所(11.2%)となっている。従業者数については製造業が2,165人(34.2%)と最も多く、次いで卸売業、小売業が1,149人(18.2%)となっている。

令和元年における民営事業所は647事業所で、公務・地方公共団体は23事業所となっている。

平成11年から令和元年までの事業所数と従業者数の推移をみると、事業所数は520～650の間で、従業者数は5,400～7,800の間で推移しており、両者とも平成21年で最も多くなっている。平成11年と令和元年を比較すると、事業所数は86事業所増(15.3%増)となっている。平成11年と平成28年を比較すると、従業者数は618人増(10.8%増)となっている。

表2-6 産業大分類別事業所数・従業者数推移及び売上金額

(事業所・企業統計調査, 経済センサス-基礎調査, 活動調査(令和5年3月31日現在))

産業大分類	平成11年		平成13年	
	事業所数	従業者数 (人)	事業所数	従業者数 (人)
A. B. C. 農林水産業	4	75	3	27
D. 鉱業	-	-	-	-
E. 建設業	92	515	82	518
F. 製造業	124	2,398	117	2,287
G. 卸売業・小売業	194	1,405	181	1,357
H. 金融・保険業	4	37	4	34
I. 不動産業	21	45	20	34
J. 運輸・通信業	26	620	26	565
K. 電気・ガス・水道業	-	-	-	-
L. サービス業	96	611	95	661
N. 分類不能の産業	-	-	-	-
合計	561	5,706	528	5,483

産業大分類	平成16年		平成18年	
	事業所数	従業者数 (人)	事業所数	従業者数 (人)
A. B. C. 農林水産業	3	34	4	47
D. 鉱業	-	-	-	-
E. 建設業	87	519	89	424
F. 製造業	122	2,205	127	2,534
G. 電気・ガス・熱供給・水道業	-	-	1	12
H. 情報通信業	6	30	9	82
I. 運輸業	25	618	27	677
J. 卸売・小売業	131	1,102	152	1,314
K. 金融・保険業	3	31	4	40
L. 不動産業	21	38	24	52
M. 飲食店、宿泊業	42	270	44	301
N. 医療、福祉	18	228	25	352
O. 教育、学習支援業	11	23	26	264
P. 複合サービス業	2	31	4	73
Q. サービス業(他に分類されないもの)	74	451	87	402
R. 公務(他に分類されるものを除く)			5	100
合計	545	5,580	628	6,674

産業大分類	平成21年		平成23年			平成26年		
	事業所数	従業者数 (人)	事業所数	従業者数 (人)	売上金額 (百万円)	事業所数	従業者数 (人)	売上金額 (百万円)
A. B. 農林漁業	4	48	4	39	X	8	99	241
C. 鉱業、採石業、砂利採取業	1	2	-	-	-	-	-	-
D. 建設業	85	411	72	353	4,227	70	339	5,630
E. 製造業	125	2,965	114	2,235	83,630	113	2,184	61,175
F. 電気・ガス・熱供給・水道業	1	9	-	-	-	1	8	-
G. 情報通信業	11	84	8	76	703	8	74	841
H. 運輸業、郵便業	29	778	27	727	9,438	27	767	10,241
I. 卸売業、小売業	154	1,415	137	1,146	30,547	141	1,280	36,301
J. 金融業、保険業	7	64	6	57	2,853	5	48	1,410
K. 不動産業、物品賃貸業	32	88	32	79	532	33	74	735
L. 学術研究、専門・技術サービス業	23	64	15	44	659	18	208	821
M. 宿泊業、飲食サービス業	44	346	37	260	952	44	334	1,142
N. 生活関連サービス業、娯楽業	47	313	43	175	2,843	55	224	8,037
O. 教育、学習支援業	26	393	17	178	1,625	23	271	2,034
P. 医療、福祉	32	411	31	360	2,102	37	606	3,100
Q. 複合サービス事業	3	42	4	53	X	3	47	756
R. サービス業（他に分類されないもの）	24	299	19	79	886	23	223	2,190
S. 公務（他に分類されるものを除く）	5	111				5	107	
合計	653	7,843	566	5,861	141,338	614	6,893	134,653

産業大分類	平成28年			令和元年	
	事業所数	従業者数 (人)	売上金額 (百万円)	事業所数	従業者数 (人)
A. B. 農林漁業	7	86	405	(4)	(27)
C. 鉱業、採石業、砂利採取業	-	-	-	-	-
D. 建設業	64	313	4,569	(3)	(3)
E. 製造業	112	2,165	91,053	(6)	(21)
F. 電気・ガス・熱供給・水道業	-	-	-	(1)	(1)
G. 情報通信業	7	66	902	(1)	(2)
H. 運輸業、郵便業	27	750	11,692	-	-
I. 卸売業、小売業	134	1,149	39,605	(15)	(98)
J. 金融業、保険業	4	46	X	(1)	(4)
K. 不動産業、物品賃貸業	31	77	1,120	(4)	(6)
L. 学術研究、専門・技術サービス業	20	234	1,196	(6)	(117)
M. 宿泊業、飲食サービス業	38	276	1,190	(5)	(210)
N. 生活関連サービス業、娯楽業	53	269	4,424	(8)	(125)
O. 教育、学習支援業	16	146	1,457	(2)	(3)
P. 医療、福祉	34	471	3,059	(1)	(19)
Q. 複合サービス事業	2	39	X	-	-
R. サービス業（他に分類されないもの）	23	237	2,237	(6)	(289)
合計	572	6,324	165,195	647	(925)

注1) 「-」は該当数値なし、「X」は統計法により公表を控えたもの

注2) 平成23年、平成28年は民営事業所のみでの集計となっている

注3) 売上金額は外国の会社及び法人でない団体を除いた民営事業所のみでの集計となっている

注4) 売上金額の「D. 建設業」、「F. 電気・ガス・熱供給・水道業」、「G. 情報通信業」、「H. 運輸業、郵便業」、「J. 金融業、保険業」、「O. 教育、学習支援業」、「Q. 複合サービス事業」、「R. サービス業（他に分類されないもの）」、「合計」は試算値を記載

注5) 令和元年の産業大分類別の事業所数および従業者数は「新規に把握した事業所」のみ実施のため「新規に把握した事業所」の値を記載

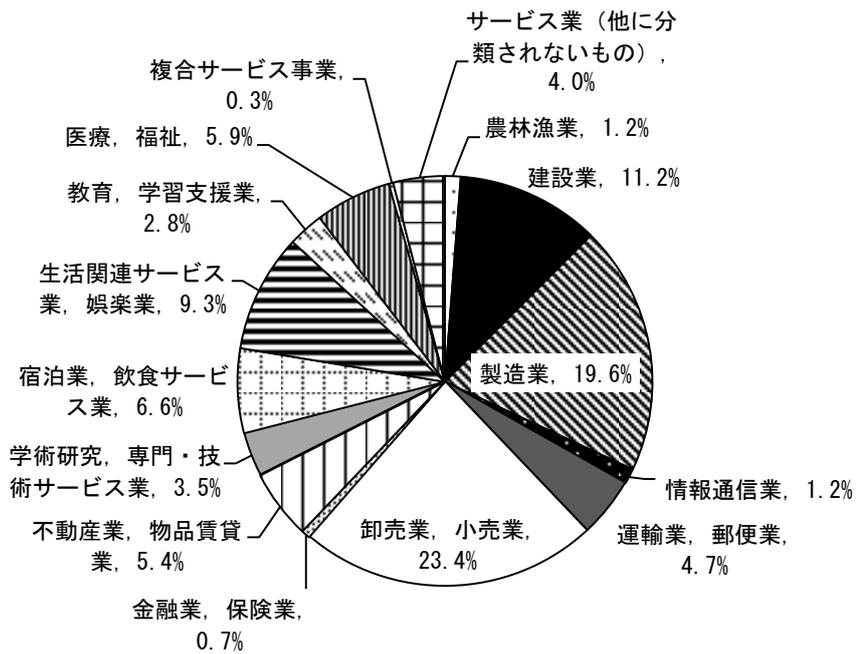
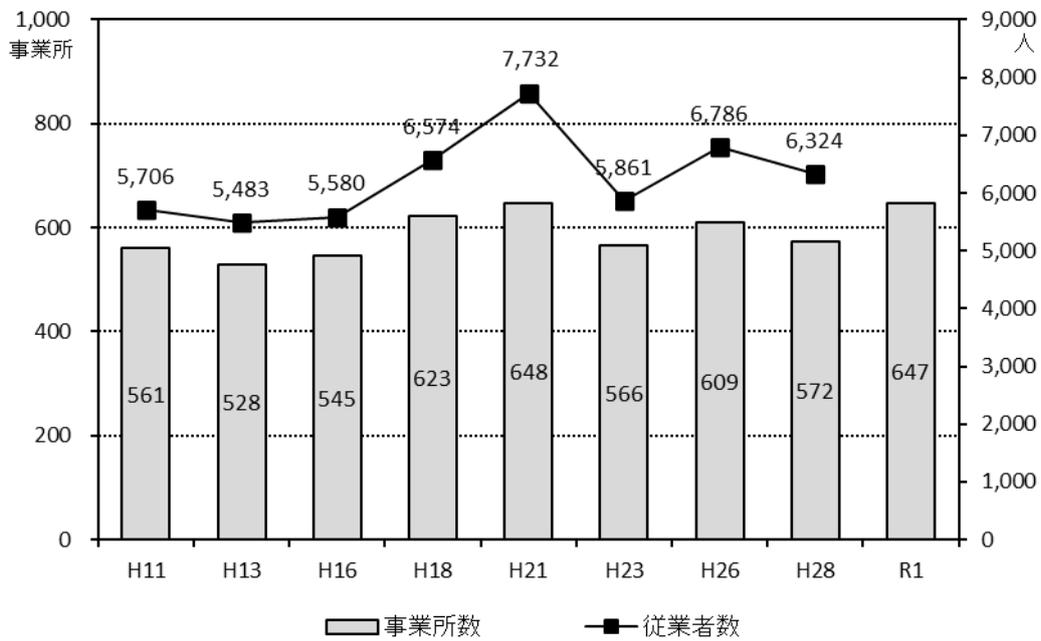


図 2 - 6 産業大分類別事業所数構成比（平成 28 年）



注) 民営事業所のみ

図 2 - 7 事業所数・従業者数推移

2) 産業中分類別工業出荷額

工業出荷額の推移をみると、平成9年から平成20年までは800～1,000億円程度で推移していたが、平成21年及び平成24年から平成26年に600億円前後に減少し、近年は800億円前後で推移している。

令和2年の工業出荷額を産業中分類別に構成比でみると、電子部品・デバイス・電子回路が28.8%を占めており、次いで生産用機械器具が22.6%、はん用機械器具が22.3%を占めている。

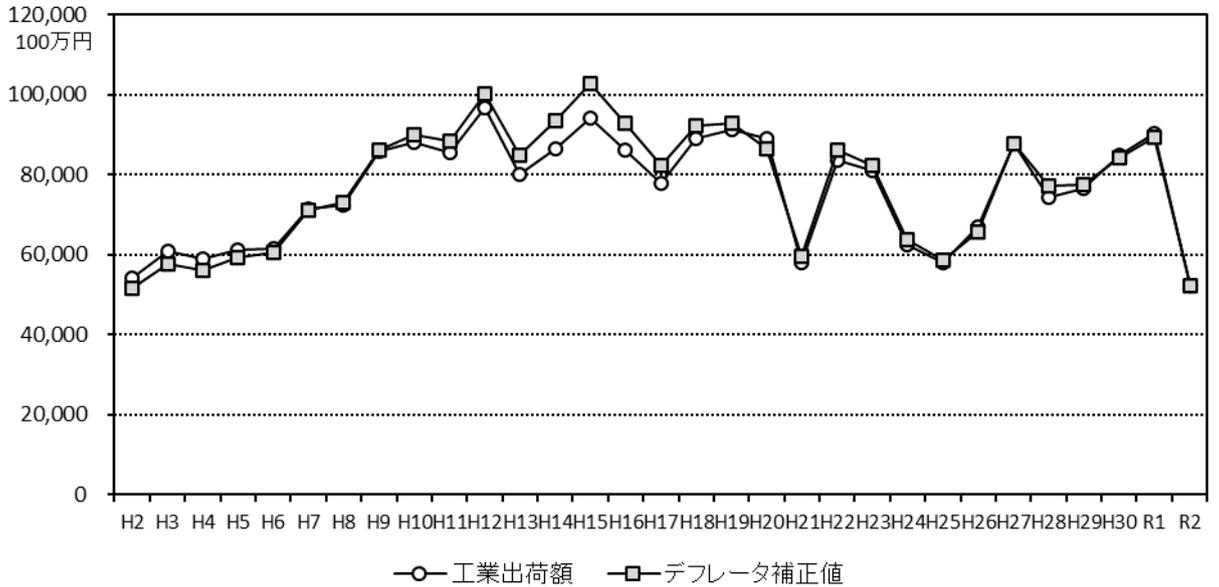


図2-8 工業出荷額推移

表2-7 工業出荷額推移

(工業統計調査, 経済センサス-活動調査(令和5年3月31日現在))

単位: 100万円

	工業出荷額	デフレーター補正值
平成2年	54,094	51,715
平成3年	60,892	57,608
平成4年	58,870	56,227
平成5年	61,177	59,338
平成6年	61,551	60,701
平成7年	71,516	71,160
平成8年	72,347	73,152
平成9年	85,904	86,336
平成10年	88,145	89,944
平成11年	85,467	88,475
平成12年	96,858	100,267
平成13年	80,161	84,916
平成14年	86,445	93,454
平成15年	94,037	102,660
平成16年	86,280	92,974
平成17年	77,745	82,444
平成18年	89,003	92,327
平成19年	91,181	92,947
平成20年	88,911	86,658
平成21年	58,107	59,780
平成22年	83,538	86,033
平成23年	81,036	82,270
平成24年	62,396	63,865
平成25年	58,177	58,824
平成26年	67,099	65,719
平成27年	87,661	87,925
平成28年	74,321	77,257
平成29年	76,464	77,707
平成30年	84,984	84,143
令和元年	90,348	89,277
令和2年	52,385	52,385

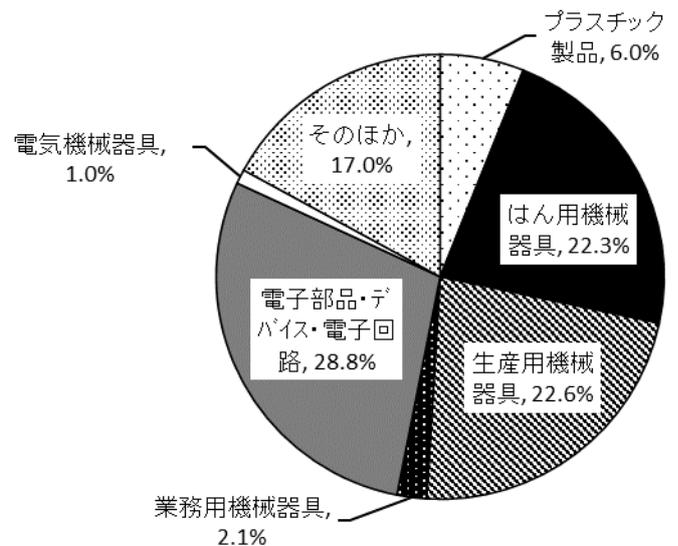


図2-9 産業中分類別工業出荷額構成比 (令和2年)

表 2 - 8 産業中分類別工業出荷額推移

(工業統計調査, 経済センサス-活動調査(令和 5 年 3 月 31 日現在))

単位:100万円

産業中分類	平成2年		平成3年		平成4年		平成5年		平成6年		平成7年	
	出荷額	デフレータ補正值										
合計	54,094	51,715	60,892	57,608	58,870	56,227	61,177	59,338	61,551	60,701	71,516	71,160
12. 食料品(製造業)	569	544	596	564	468	447	X	X	X	X	388	386
14. 繊維(工業)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
15. 衣服その他の繊維製品	148	141	140	132	150	143	151	146	127	125	117	116
16. 木材・木製品	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	73	73
17. 家具・装飾品	X	X	X	X	X	X	34	33	X	X	33	33
18. パルプ・紙・紙加工品	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X
19. 出版・印刷・同関連	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	X	X
20. 化学	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	2,207	2,196
21. 石油製品・石炭製品	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	2,040	2,030
23. ゴム製品	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X
24. なめし皮・同製品・毛皮	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
25. 窯業・土石製品	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X
26. 鉄鋼	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
27. 非鉄金属	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X
28. 金属製品	393	376	152	144	188	180	229	222	169	167	591	588
29. 一般機械器具	6,433	6,150	8,125	7,687	10,726	10,245	11,928	11,569	11,114	10,961	12,165	12,104
30. 電気機械器具	41,457	39,634	46,002	43,521	41,667	39,797	42,464	41,187	43,972	43,365	52,159	51,900
31. 輸送用機械器具	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	-
32. 精密機械器具	356	340	704	666	707	675	772	749	356	351	760	756
33. 武器	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
34. その他の製造業	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	X	X

産業中分類	平成8年		平成9年		平成10年		平成11年		平成12年		平成13年	
	出荷額	デフレータ補正值										
合計	72,347	73,152	85,904	86,336	88,145	89,944	85,467	88,475	96,858	100,267	80,161	84,916
12. 食料品(製造業)	1,320	1,335	1,365	1,372	1,346	1,373	1,206	1,248	1,257	1,301	1,146	1,214
14. 繊維(工業)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
15. 衣服その他の繊維製品	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
16. 木材・木製品	122	123	91	91	-	-	38	39	-	-	-	-
17. 家具・装飾品	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
18. パルプ・紙・紙加工品	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
19. 出版・印刷・同関連	501	507	558	561	500	510	249	258	236	244	-	-
20. 化学	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
21. 石油製品・石炭製品	3,009	3,042	3,494	3,512	3,533	3,605	2,132	2,207	2,447	2,533	1,014	1,074
23. ゴム製品	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
24. なめし皮・同製品・毛皮	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
25. 窯業・土石製品	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
26. 鉄鋼	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
27. 非鉄金属	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
28. 金属製品	607	614	574	577	906	924	922	954	1,102	1,141	613	649
29. 一般機械器具	13,245	13,392	15,715	15,794	14,148	14,437	12,401	12,837	15,796	16,352	14,255	15,101
30. 電気機械器具	52,175	52,755	59,810	60,111	63,086	64,373	63,514	65,749	71,156	73,660	58,567	62,041
31. 輸送用機械器具	-	-	X	X	-	-	-	-	-	-	-	-
32. 精密機械器具	1,368	1,383	1,512	1,520	2,369	2,417	2,138	2,213	2,108	2,182	2,294	2,430
33. 武器	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
34. その他の製造業	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

単位:100万円

産業中分類	平成14年		平成15年		平成16年		平成17年	
	出荷額	デフレタ 補正值	出荷額	デフレタ 補正值	出荷額	デフレタ 補正值	出荷額	デフレタ 補正值
合計	86,445	93,454	94,037	102,660	86,280	92,974	77,745	82,444
09. 食料品(製造業)	1,102	1,191	1,026	1,120	1,087	1,171	1,200	1,273
12. 衣服その他の繊維製品	-	-	-	-	-	-	-	-
13. 木材・木製品	-	-	-	-	-	-	-	-
15. パルプ・紙・紙加工品	-	-	-	-	-	-	-	-
16. 出版・印刷・同関連	-	-	-	-	-	-	-	-
17. 化学	-	-	-	-	-	-	-	-
19. 石油製品・石炭製品	1,227	1,326	1,047	1,143	1,147	1,236	-	-
20. ゴム製品	-	-	-	-	-	-	-	-
24. 非鉄金属	-	-	-	-	-	-	-	-
25. 金属製品	623	674	283	309	291	314	430	456
26. 一般機械器具	13,108	14,171	15,443	16,859	19,387	20,891	19,082	20,235
27. 電気機械器具	602	651	534	583	982	1,058	880	933
28. 情報	2,703	2,922	1,971	2,152	2,355	2,538	677	718
29. 電子	62,752	67,840	70,432	76,891	57,443	61,900	50,776	53,845
30. 輸送用機械器具	-	-	-	-	-	-	-	-
31. 精密機械器具	2,084	2,253	1,124	1,227	1,301	1,402	1,452	1,540
39. その他の製造業	-	-	-	-	-	-	-	-

産業中分類	平成18年		平成19年	
	出荷額	デフレタ 補正值	出荷額	デフレタ 補正值
合計	89,003	92,327	91,181	92,947
09. 食料	1,364	1,415	X	X
12. 衣服	-	-	-	-
15. 紙	X	X	X	X
16. 印刷	X	X	X	X
17. 化学	X	X	X	X
19. プラスチック	X	X	X	X
20. ゴム	X	X	X	X
24. 非鉄	X	X	X	X
25. 金属	480	497	368	376
26. 機械	22,182	23,010	21,975	22,401
27. 電機	2,249	2,333	1,874	1,910
28. 情報	878	910	1,259	1,283
29. 電子	55,594	57,670	58,151	59,277
30. 輸送	X	X	1,443	1,471
31. 精密	1,690	1,753	1,490	1,519

産業中分類	平成20年		平成21年		平成22年	
	出荷額	デフレタ 補正值	出荷額	デフレタ 補正值	出荷額	デフレタ 補正值
合計	88,911	86,658	58,107	59,780	83,538	86,033
09. 食料	X	X	X	X	X	X
14. 紙・パルプ	X	X	X	X	X	X
15. 印刷	X	X	X	X	X	X
16. 化学	X	X	X	X	X	X
18. プラスチック	2,588	2,522	2,098	2,158	2,275	2,343
19. ゴム	X	X	-	-	-	-
21. 窯業	-	-	-	-	X	X
24. 金属	X	X	X	X	X	X
25. はん用機械	11,743	11,446	X	X	X	X
26. 生産用機械	9,459	9,219	4,437	4,564	8,073	8,314
27. 業務用機械	1,800	1,755	1,114	1,146	1,270	1,308
28. 電子	53,633	52,274	37,736	38,823	53,147	54,734
29. 電気	1,944	1,894	1,331	1,370	2,268	2,336
30. 情報	1,941	1,892	1,316	1,353	1,423	1,466
31. 輸送	X	X	1,210	1,245	X	X

単位：100万円

産業中分類	平成23年		平成24年		平成25年		平成26年		平成27年	
	出荷額	デフレタ補正值								
合計	81,036	82,270	62,396	63,865	58,177	58,824	67,099	65,719	87,661	87,925
09. 食料品	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X
10. 飲料・たばこ・飼料	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
11. 繊維工業	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
12. 木材・木製品	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
13. 家具・装備品	-	-	X	X	-	-	-	-	-	-
14. パルプ・紙・紙加工品	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X
15. 印刷・同関連業	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X
16. 化学工業	2,393	2,429	X	X	X	X	X	X	X	X
17. 石油製品・石炭製品	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
18. プラスチック製品	2,472	2,510	2,787	2,853	2,685	2,715	2,826	2,768	5,346	5,362
19. ゴム製品	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
20. なめし革・同製品・毛皮	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
21. 窯業・土石製品	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X
22. 鉄鋼業	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
23. 非鉄金属	-	-	X	X	X	X	X	X	-	-
24. 金属製品	1,200	1,218	388	397	303	306	400	392	X	X
25. はん用機械器具	10,162	10,317	X	X	9,333	9,437	9,748	9,548	12,992	13,031
26. 生産用機械器具	6,883	6,988	7,111	7,278	6,751	6,826	9,038	8,852	6,806	6,826
27. 業務用機械器具	426	432	1,472	1,507	1,215	1,229	1,114	1,091	1,446	1,450
28. 電子部品・デバイス・電子回路	50,545	51,315	34,006	34,807	31,085	31,431	35,973	35,233	52,333	52,490
29. 電気機械器具	3,572	3,626	321	329	311	314	1,114	1,091	1,047	1,050
30. 情報通信機械器具	X	X	X	X	X	X	X	X	-	-
31. 輸送用機械器具	X	X	1,232	1,261	X	X	1,405	1,376	X	X
32. その他の製造業	X	X	-	-	-	-	-	-	-	-

産業中分類	平成28年		平成29年		平成30年		令和元年		令和2年	
	出荷額	デフレタ補正值								
合計	74,321	77,257	76,464	77,707	84,984	84,143	90,348	89,277	52,385	52,385
09. 食料品	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X
10. 飲料・たばこ・飼料	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
11. 繊維工業	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
12. 木材・木製品	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
13. 家具・装備品	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
14. パルプ・紙・紙加工品	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X
15. 印刷・同関連業	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X
16. 化学工業	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X
17. 石油製品・石炭製品	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
18. プラスチック製品	3,022	3,141	3,032	3,081	3,101	3,070	3,172	3,134	3,166	3,166
19. ゴム製品	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
20. なめし革・同製品・毛皮	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
21. 窯業・土石製品	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X
22. 鉄鋼業	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
23. 非鉄金属	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X
24. 金属製品	203	211	493	501	492	487	X	X	X	X
25. はん用機械器具	X	X	X	X	12,877	12,750	13,973	13,807	11,685	11,685
26. 生産用機械器具	11,034	11,470	12,127	12,324	14,241	14,100	14,363	14,193	11,847	11,847
27. 業務用機械器具	881	916	1,132	1,150	1,106	1,095	1,240	1,225	1,117	1,117
28. 電子部品・デバイス・電子回路	41,104	42,728	41,314	41,986	44,432	43,992	47,654	47,089	15,099	15,099
29. 電気機械器具	1,034	1,075	1,193	1,212	1,200	1,188	759	750	548	548
30. 情報通信機械器具	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X
31. 輸送用機械器具	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X
32. その他の製造業	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

注1) デフレタ補正值は、令和2年を100とした企業物価指数（日本銀行調査統計局）により割り戻した値

注2) 平成14年以降は事業者4人以上の事業所の数値、「-」は該当数値なし、「X」は統計法により公表を控えたもの

工業出荷額推計

デフレーター補正值による工業出荷額の推計をみると、等差式及び等比式によると減少傾向にあり、指数式、一次式及び片対数によると一時増加した後に減少傾向にあることが推測される。

なお、本推計は数学的手法に基づいて算出した結果であり、過去の工業出荷額推移の影響を強く受けている。

表 2 - 9 工業出荷額推計

(工業統計調査, 経済センサス-活動調査(令和 5 年 3 月 31 日現在))

単位：100万円

	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年	平成28年	令和2年	令和7年	令和12年	令和17年	令和22年
実績値 (デフレーター補正值)	100,267	82,444	86,033	87,925	77,257	52,385				
推計値 等差式							45,556	37,020	28,484	19,948
等比式							47,481	41,992	37,137	32,844
指数式							65,065	60,463	56,187	52,213
一次式							65,259	59,587	53,916	48,245
片対数							66,330	61,639	57,169	52,899

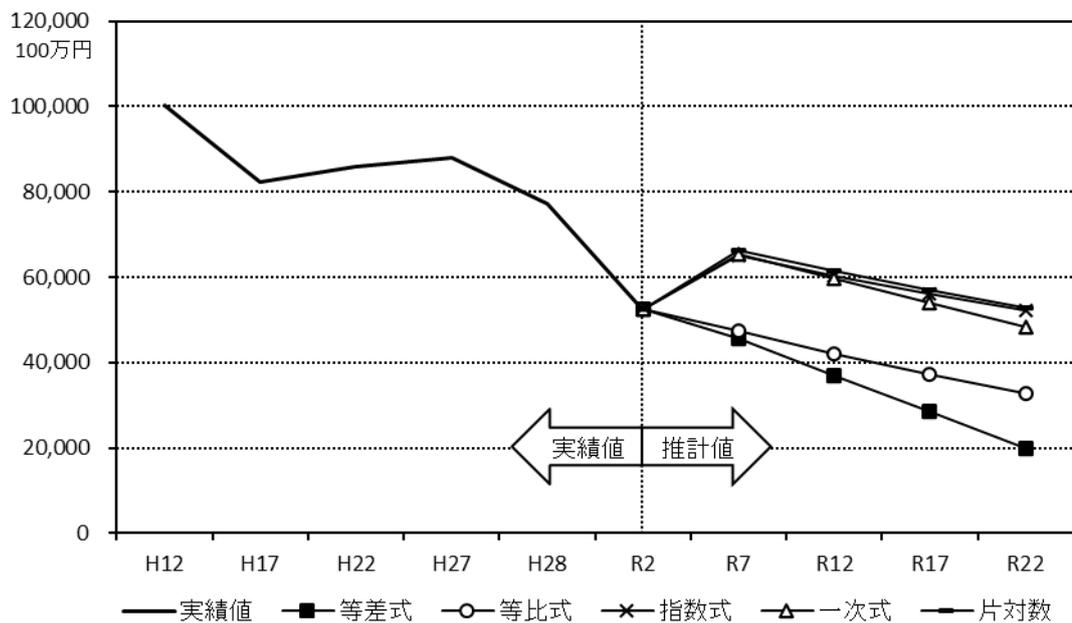
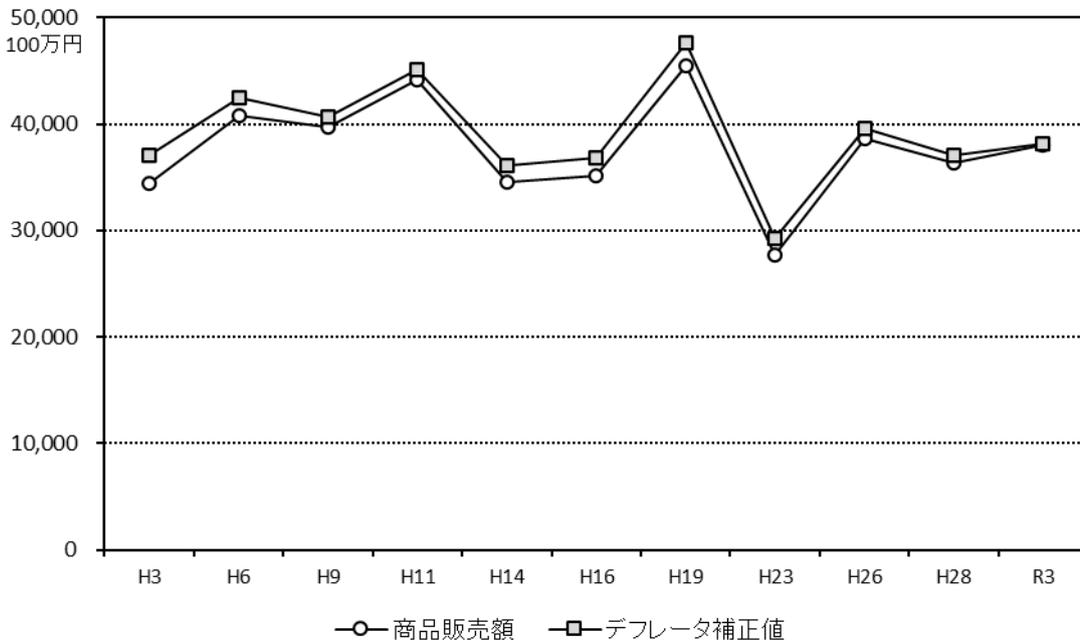


図 2 - 10 工業出荷額推計

3) 産業中分類別商業販売額

年間商品販売額のデフレーター補正值での推移をみると、290～480 億円の間で増減を繰り返しており、令和3年には約380 億円となっている。特に平成19年から平成23年にかけての減少幅が大きく、卸売業の減少が著しい。

また、令和3年の産業中分類別商品販売額を構成比でみると、中分類別の内訳が公表されていない卸売業を除くと飲食料品小売業が12.1%と最も多くなっている。



注) 飲食店は含まない

図2-11 年間商品販売額推移

表2-10 年間商品販売額推移

(商業統計調査, 経済センサス-活動調査(令和5年3月31日現在))

単位: 100万円

	商品販売額	デフレーター補正值
平成3年	34,368	37,114
平成6年	40,810	42,510
平成9年	39,735	40,670
平成11年	44,197	45,099
平成14年	34,569	36,085
平成16年	35,141	36,797
平成19年	45,481	47,624
平成23年	27,681	29,292
平成26年	38,579	39,568
平成28年	36,363	37,067
令和3年	38,018	38,094

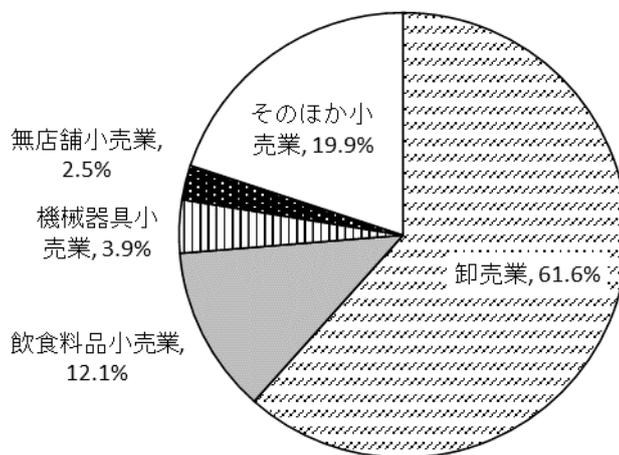


図2-12 産業中分類別年間商品販売額構成比 (令和3年)

注) 飲食店は含まない

表 2-11 産業中分類別年間商品販売額推移 (商業統計調査, 経済センサス-活動調査(令和5年3月31日現在))

単位:100万円

産業中分類	平成3年		平成6年		平成9年		平成11年	
	販売額	デフレータ補正值	販売額	デフレータ補正值	販売額	デフレータ補正值	販売額	デフレータ補正值
合計	34,368	37,114	40,810	42,510	39,735	40,670	44,197	45,099
40~41.卸売業	21,593	23,319	24,234	25,244	21,486	21,992	27,417	27,977
42.代理商、仲立業	-	-	-	-	-	-	-	-
小売業計	12,775	13,796	16,576	17,267	18,249	18,679	16,780	17,122
43.各種商品小売業	-	-	-	-	-	-	-	-
44.織物・衣服・身の回り品小売業	318	343	753	784	912	933	792	808
45.飲食品小売業	2,984	3,222	4,414	4,598	5,061	5,180	4,880	4,980
46.飲食店	689	744						
47.自動車・自転車小売業	4,968	5,365	4,980	5,188	5,394	5,521	5,069	5,172
48.家具・建具・じゅう器等小売業	766	827	1,144	1,192	1,758	1,799	1,892	1,931
49.その他の小売業	3,739	4,038	5,285	5,505	5,124	5,245	4,147	4,232

産業中分類	平成14年		平成16年		平成19年	
	販売額	デフレータ補正值	販売額	デフレータ補正值	販売額	デフレータ補正值
合計	34,569	36,085	35,141	36,797	45,481	47,624
49~54.卸売業	16,165	16,874	18,515	19,387	28,939	30,303
小売業計	18,404	19,211	16,626	17,409	16,542	17,321
55.各種商品小売業	-	-	-	-	-	-
56.織物・衣服・身の回り品小売業	681	711	650	681	214	224
57.飲食品小売業	6,342	6,620	5,223	5,469	5,283	5,532
58.自動車・自転車小売業	4,314	4,503	4,643	4,862	4,280	4,482
59.家具・じゅう器等小売業	3,520	3,674	1,099	1,151	560	586
60.その他の小売業	3,547	3,703	5,011	5,247	6,205	6,497

産業中分類	平成23年		平成26年		平成28年		令和3年	
	販売額	デフレータ補正值	販売額	デフレータ補正值	販売額	デフレータ補正值	販売額	デフレータ補正值
合計	27,681	29,292	38,579	39,568	36,363	37,067	38,018	38,094
卸売業計	15,718	16,633	26,203	26,875	20,492	20,889	23,411	23,458
50.各種商品卸売業	-	-			X	X		
51.繊維・衣服等卸売業	X	X			-	-		
52.飲食品卸売業	1,067	1,129			1,175	1,198		
53.建築材料、鉱物・金属材料等卸売業	1,418	1,501			1,712	1,745		
54.機械器具卸売業	7,759	8,211			9,487	9,671		
55.その他の卸売業	X	X			X	X		
						-		
小売業計	11,963	12,659	12,376	12,693	15,871	16,178	14,607	14,636
56.各種商品小売業	-	-	-	-	-	-	-	-
57.織物・衣服・身の回り品小売業	80	85	X	X	64	65	X	X
58.飲食品小売業	3,519	3,724	3,878	3,977	4,113	4,193	4,609	4,618
59.機械器具小売業	3,198	3,384	2,576	2,642	3,413	3,479	1,467	1,470
60.その他の小売業	4,773	5,051	X	X	6,914	7,048	X	X
61.無店舗小売業	393	416	1,479	1,517	1,367	1,393	957	959

注1) デフレータ補正值は、令和2年を100とした消費者物価指数(総務省統計局)により割り戻した値

注2) 「-」は該当数値なし、「X」は統計法により公表を控えたもの

注3) 平成11年までは合計及び小売業小計には、飲食店は含まれていない

注4) 平成3年の飲食店販売額は、平成4年調査の販売額である

注5) 平成26年及び令和3年について、町村別の卸売業の内訳は公表されていない

商業販売額推計

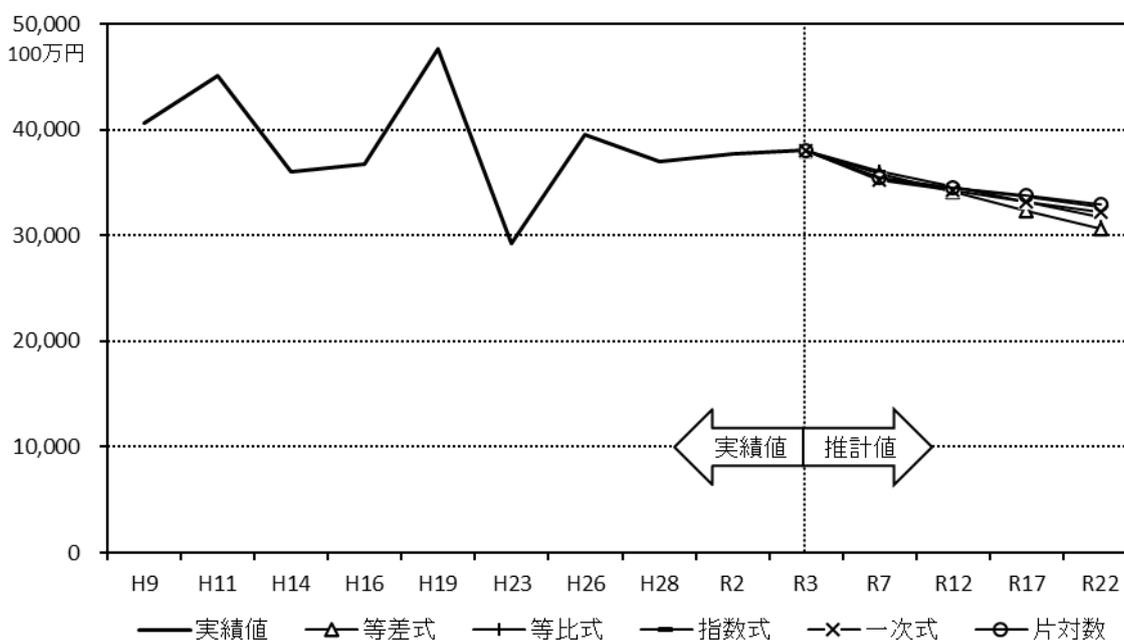
デフレーター補正值による商品販売額の推計をみると、推計方式により数値に幅はあるものの、減少傾向が続くことが推測される。

なお、本推計は数学的手法に基づいて算出した結果であり、過去の年間商品販売額推移の影響を強く受けている。

表 2-12 年間商品販売額推計 (商業統計調査, 経済センサス-活動調査(令和 5 年 3 月 31 日現在))

単位: 100万円

	H 9	H 11	H 14	H 16	H 19	H 23	H 26	H 28	R 2 (参考値)	R 3	R 7	R 12	R 17	R 22
実績値 (デフレーター補正值)	40,670	45,099	36,085	36,797	47,624	29,292	39,568	37,067	37,687	38,094	/	/	/	/
推計値 等差式	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	35,922	34,157	32,393	30,628
等比式	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	36,110	34,599	33,151	31,764
指数式	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	35,399	34,500	33,623	32,769
一次式	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	35,313	34,271	33,230	32,189
片対数	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	35,459	34,581	33,745	32,945



注) 令和 2 年は参考値

図 2-13 年間商品販売額推計

③ 土地利用

C0302 土地利用現況

都市計画区域における土地利用別現況は、自然的土地利用が 1,141.6ha（54.9%）であり、そのうち農地が 917.5ha（44.1%）を占めている。都市的土地利用は 936.4ha（45.0%）であり、そのうち宅地は 413.0ha（19.9%）である。

また、用途地域指定区域 637.0ha のうち 393.9ha（61.8%）が都市的土地利用であり、208.9ha（32.8%）が宅地である。農地は用途地域指定区域内に 115.3ha（18.1%）残存している。用途地域指定外区域は 1,442.0ha のうち 898.5ha（62.3%）が自然的土地利用であり、農地が 802.2ha（55.6%）を占めている。

表 3 - 1 土地利用別面積

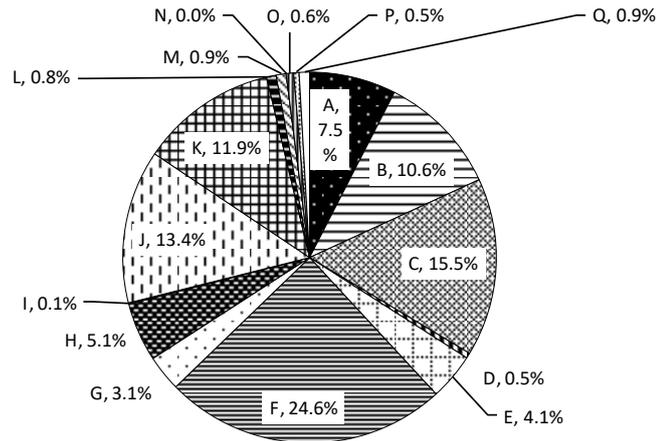
(南箕輪村調査(令和 5 年 3 月 31 日現在))

土地利用区分		用途地域指定区域		用途地域指定外区域		都市計画区域		
		面積(ha)	構成比	面積(ha)	構成比	面積(ha)	構成比	
		自然的 土地 利用	農地	田	47.8	7.5%	413.4	28.7%
畑	67.5			10.6%	388.8	27.0%	456.3	21.9%
小計	115.3			18.1%	802.2	55.6%	917.5	44.1%
山林	99.0		15.5%	29.6	2.1%	128.6	6.2%	
水面	2.9		0.5%	16.5	1.1%	19.4	0.9%	
その他の自然地	25.9		4.1%	50.2	3.5%	76.1	3.7%	
小計	243.1		38.2%	898.5	62.3%	1,141.6	54.9%	
都市的 土地 利用	宅地	住宅用地	156.4	24.6%	126.4	8.8%	282.8	13.6%
		商業用地	19.9	3.1%	23.1	1.6%	43.0	2.1%
		工業用地	32.6	5.1%	54.6	3.8%	87.2	4.2%
		小計	208.9	32.8%	204.1	14.2%	413.0	19.9%
	農林漁業施設用地	0.7	0.1%	6.7	0.5%	7.4	0.4%	
	公益施設用地	85.2	13.4%	16.1	1.1%	101.3	4.9%	
	道路用地	75.5	11.9%	149.1	10.3%	224.6	10.8%	
	交通施設用地	5.3	0.8%	13.7	1.0%	19.0	0.9%	
	公共空地	5.5	0.9%	90.7	6.3%	96.2	4.6%	
	その他の空地①	0.0	0.0%	43.5	3.0%	43.5	2.1%	
	その他の空地②	4.1	0.6%	9.7	0.7%	13.8	0.7%	
	その他の空地③	3.0	0.5%	3.8	0.3%	6.8	0.3%	
	その他の空地④	5.7	0.9%	6.1	0.4%	11.8	0.6%	
小計	393.9	61.8%	542.5	37.6%	936.4	45.0%		
合計	637.0	100.0%	1,442.0	100.0%	2,079.0	100.0%		
可住地	425.8	66.8%	1,105.7	76.7%	1,531.5	73.7%		
非可住地	211.2	33.2%	336.3	23.3%	547.5	26.3%		

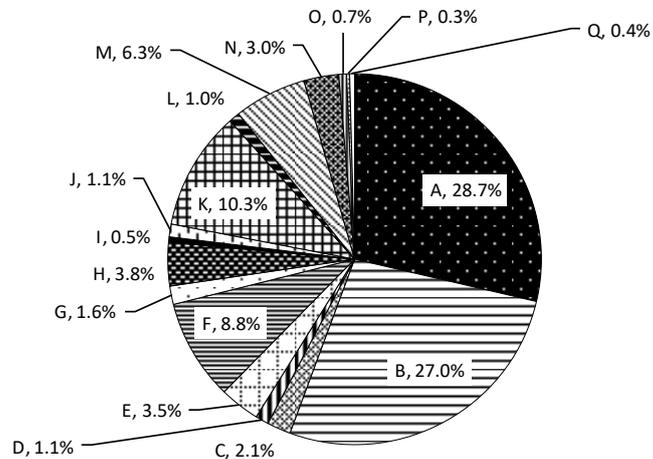
注 1) 非可住地は、以下の通りとする

「水面」、「その他の自然地」、「商業用地」の内、敷地面積 1 ha 以上の大規模施設用地、「公共・公益用地」、「道路用地」、「交通施設用地」、「その他公的施設用地」
これらのほか、土地利用状況に関係なく全ての工業専用地域

用途地域指定区域	面積(ha)	構成比
A 田	47.8	7.5%
B 畑	67.5	10.6%
C 山林	99.0	15.5%
D 水面	2.9	0.5%
E その他の自然地	25.9	4.1%
F 住宅用地	156.4	24.6%
G 商業用地	19.9	3.1%
H 工業用地	32.6	5.1%
I 農林漁業施設用地	0.7	0.1%
J 公益施設用地	85.2	13.4%
K 道路用地	75.5	11.9%
L 交通施設用地	5.3	0.8%
M 公共空地	5.5	0.9%
N その他の空地①	0.0	0.0%
O その他の空地②	4.1	0.6%
P その他の空地③	3.0	0.5%
Q その他の空地④	5.7	0.9%
合計	637.0	100.0%



用途地域指定外区域	面積(ha)	構成比
A 田	413.4	28.7%
B 畑	388.8	27.0%
C 山林	29.6	2.1%
D 水面	16.5	1.1%
E その他の自然地	50.2	3.5%
F 住宅用地	126.4	8.8%
G 商業用地	23.1	1.6%
H 工業用地	54.6	3.8%
I 農林漁業施設用地	6.7	0.5%
J 公益施設用地	16.1	1.1%
K 道路用地	149.1	10.3%
L 交通施設用地	13.7	1.0%
M 公共空地	90.7	6.3%
N その他の空地①	43.5	3.0%
O その他の空地②	9.7	0.7%
P その他の空地③	3.8	0.3%
Q その他の空地④	6.1	0.4%
合計	1,442.0	100.0%



都市計画区域	面積(ha)	構成比
A 田	461.2	22.2%
B 畑	456.3	21.9%
C 山林	128.6	6.2%
D 水面	19.4	0.9%
E その他の自然地	76.1	3.7%
F 住宅用地	282.8	13.6%
G 商業用地	43.0	2.1%
H 工業用地	87.2	4.2%
I 農林漁業施設用地	7.4	0.4%
J 公益施設用地	101.3	4.9%
K 道路用地	224.6	10.8%
L 交通施設用地	19.0	0.9%
M 公共空地	96.2	4.6%
N その他の空地①	43.5	2.1%
O その他の空地②	13.8	0.7%
P その他の空地③	6.8	0.3%
Q その他の空地④	11.8	0.6%
合計	2,079.0	100.0%

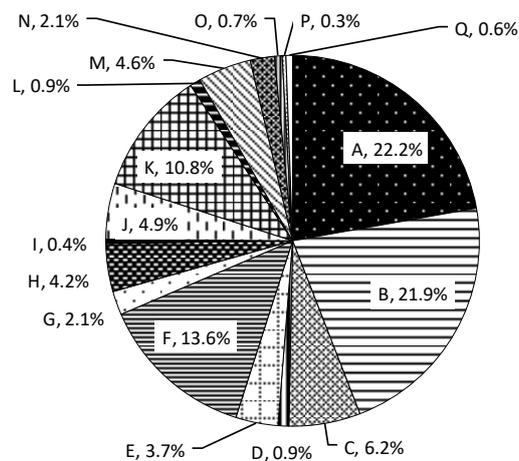


図3-1 土地利用別面積構成比

C0304 宅地開発状況

平成30年から令和4年の過去5年間の宅地開発状況は、開発許可による開発行為が5件(4.2ha)となっており、用途は工業が3件、住宅、その他がそれぞれ1件ずつとなっている。

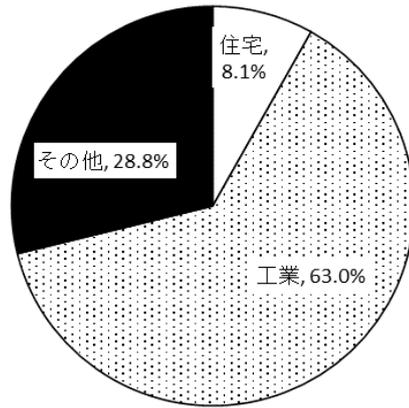
また、令和4年までの面整備実績の累計は43.1haで、そのうち平成9年以前が20.7haと約半数を占めている。

表3-2 開発行為許可状況

(南箕輪村調査(令和5年3月31日現在))

年次	都市計画区域					
	住宅	商業	工業	農林漁業	その他	合計
	㎡ (件)	㎡ (件)	㎡ (件)	㎡ (件)	㎡ (件)	㎡ (件)
平成7年			7,974.49 (1)			7,974.49 (1)
平成8年	8,818.28 (2)					8,818.28 (2)
平成9年			9,576.45 (1)			9,576.45 (1)
平成10年			4,348.25 (1)			4,348.25 (1)
平成11年						
平成12年			24,865.40 (2)			24,865.40 (2)
平成13年		11,351.10 (1)				11,351.10 (1)
平成14年	9,700.12 (1)		9,917.36 (1)			19,617.48 (2)
平成15年						
平成16年		13,364.44 (1)				13,364.44 (1)
平成17年	10,131.45 (1)					10,131.45 (1)
平成18年		11,731.86 (1)				11,731.86 (1)
平成19年		3,572.34 (1)	43,073.14 (4)			46,645.48 (5)
平成20年						
平成21年	5,017.42 (1)					5,017.42 (1)
平成22年		4,110.99 (1)			6,599.91 (1)	10,710.90 (2)
平成23年						
平成24年			5,644.81 (1)			5,644.81 (1)
平成25年						
平成26年						
平成27年			9,542.78 (1)			9,542.78 (1)
平成28年					4,687.40 (1)	4,687.40 (1)
平成29年		3,916.48 (1)				3,916.48 (1)
平成30年						
令和元年			4,721.94 (1)		12,232.55 (1)	16,954.49 (2)
令和2年	3,450.62 (1)		6,090.41 (1)			9,541.03 (2)
令和3年			15,927.54 (1)			15,927.54 (1)
令和4年						
合計	37,117.89 (6)	48,047.21 (6)	141,682.57 (15)		23,519.86 (3)	250,367.53 (30)
H30~R4 合計	3,450.62 (1)		26,739.89 (3)		12,232.55 (1)	42,423.06 (5)

注) 3,000㎡以上の開発行為について集計



注) 平成30年から令和4年までの合計面積割合

図3-2 用途別開発許可状況構成比

表3-3 面整備実績

(南箕輪村調査(令和5年3月31日現在))

完了年次	市街地開発事業等 (注1) ha	公的宅地開発 (注2) ha	開発許可等 (注3) ha	合計 ha	累計 ha
平成9年以前			20.7	20.7	20.7
平成10年～14年			6.0	6.0	26.7
平成15年～19年			8.2	8.2	34.9
平成20年～24年			2.1	2.1	37.0
平成25年～29年			1.8	1.8	38.9
平成30年～令和4年			4.2	4.2	43.1

注1) 「公的宅地開発」「開発許可」以外のもの

注2) 市街地開発事業によらない、公団・公社・市町村等の公的住宅造成

注3) 開発許可による開発行為(3,000㎡以上のもの)、及び「(旧)住宅地造成事業に関する法律」により許可された宅地造成

注4) 「市街地開発事業等」「公的宅地開発」の面整備実績はない

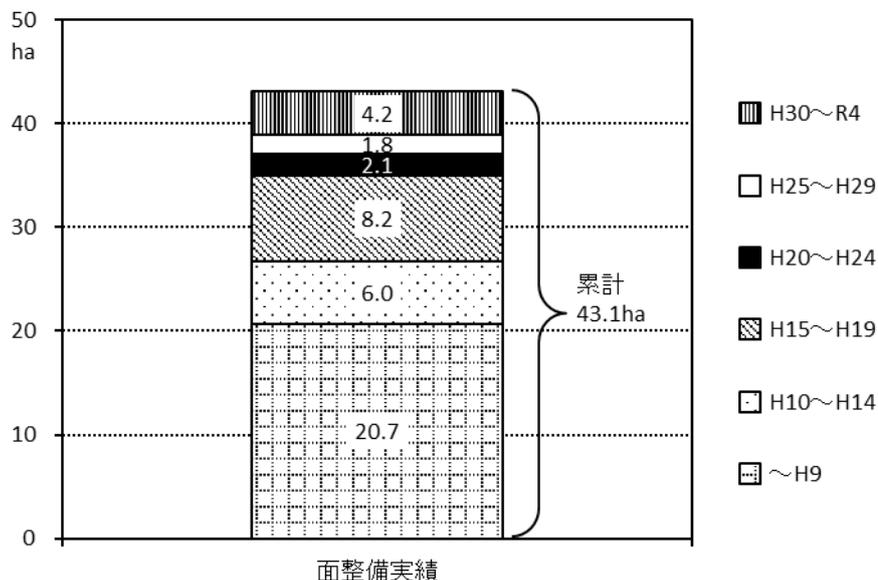


図3-3 面整備実績の累計

C0305 農地転用状況

平成30年から令和4年までの過去5年間の農地転用面積は、用途地域指定区域では約9.2ha、用途地域指定外区域では約13.5haの合計22.7haである。また、5年間の農地面積における転用率は用途地域指定区域が14.8%、用途地域指定外区域が3.1%となっており、用途地域指定区域における転用率の方が高い。

転用用途別にみると、用途地域指定区域、用途地域指定外区域でともに住宅用地への転用が過半数を占め、次いでその他への転用が多い。

表3-4 農地転用推移

(南箕輪村調査(令和5年3月31日現在))

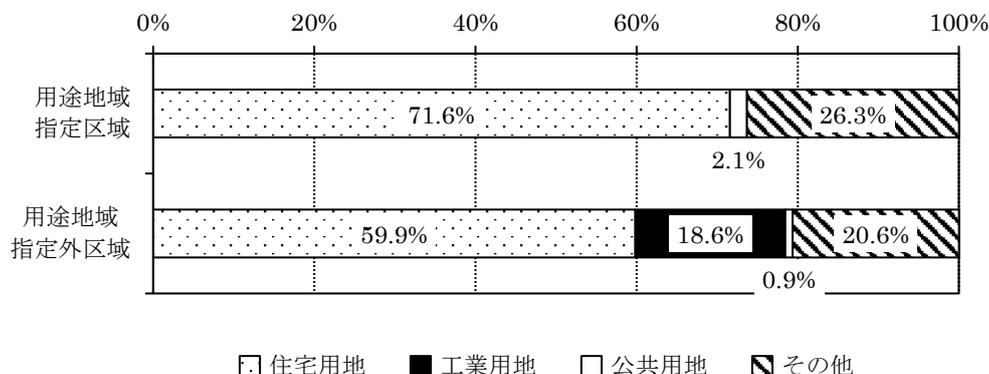
		住宅用地		工業用地		公共用地		その他		合計		前年度の農地面積 m ²	転用率 %
		件数	面積 m ²	件数	面積 m ²	件数	面積 m ²	件数	面積 m ²	件数	面積 m ²		
用途地域指定区域	平成30年	35	12,562.23					21	9,124.31	56	21,686.54	620,350.21	3.5
	令和元年	44	22,945.86					9	7,312.00	53	30,257.86	598,663.67	5.1
	令和2年	16	6,439.00			2	1,959.00	4	1,376.00	22	9,774.00	568,405.81	1.7
	令和3年	22	11,916.55					11	2,515.11	33	14,431.66	558,631.81	2.6
	令和4年	27	12,016.01					12	3,879.04	39	15,895.05	544,200.15	2.9
	合計	144	65,879.65			2	1,959.00	57	24,206.46	203	92,045.11		14.8
用途地域指定外区域	平成30年	50	25,602.11	4	3,763.00	1	480.00	14	7,178.00	69	37,023.11	4,321,991.60	0.9
	令和元年	30	11,225.00	2	6,090.00	2	780.00	10	4,007.72	44	22,102.72	4,284,968.49	0.5
	令和2年	25	10,768.00					14	4,162.00	39	14,930.00	4,262,865.77	0.4
	令和3年	41	20,013.03	16	15,273.00			11	8,265.00	68	43,551.03	4,247,935.77	1.0
	令和4年	30	13,213.71					10	4,219.89	40	17,433.60	4,204,384.74	0.4
	合計	176	80,821.85	22	25,126.00	3	1,260.00	59	27,832.61	260	135,040.46		3.1
合計	平成30年	85	38,164.34	4	3,763.00	1	480.00	35	16,302.31	125	58,709.65	4,942,341.80	1.2
	令和元年	74	34,170.86	2	6,090.00	2	780.00	19	11,319.72	97	52,360.58	4,883,632.15	1.1
	令和2年	41	17,207.00			2	1,959.00	18	5,538.00	61	24,704.00	4,831,271.57	0.5
	令和3年	63	31,929.58	16	15,273.00			22	10,780.11	101	57,982.69	4,806,567.57	1.2
	令和4年	57	25,229.72					22	8,098.93	79	33,328.65	4,748,584.88	0.7
	合計	320	146,701.50	22	25,126.00	5	3,219.00	116	52,039.07	463	227,085.57		4.6

注1) 転用率=過去1年間の農地転用面積/前年の農地面積×100

=5年間の農地転用面積/5年前の農地面積×100

注2) 農地面積は、前回基礎調査調書の平成29年の面積をもとに算出した

注3) 一時転用についても含まれる



注) 平成30年から令和4年の合計面積割合

図3-4 農地転用面積構成比

C0307 新築動向

平成30年から令和4年までの過去5年間における都市計画区域の新築状況は525件で、そのうち用途地域指定区域の件数は267件で全新築件数の50.9%を占めている。

建物の用途別にみると、住宅が458件であり全体の87.2%を占めている。用途地域指定区域では住宅が90.3%、その他が4.1%、商業施設が3.0%となっている。

地区別にみると、北殿が101件と最も多く、19.2%を占めており、次いで大泉が84件で16.0%となっている。また、分布状況をみると、村北部では国道153号や一般県道吹上北殿線の周辺で、村南部では主要地方道伊那インター線の周辺や南原で比較的新築が集積している。

表3-5 地区別新築状況（用途地域指定区域・用途地域指定外区域別）

（南箕輪村調査(令和5年3月31日現在)）

	住宅		商業施設		工業施設		公共施設		その他	
	件数	面積	件数	面積	件数	面積	件数	面積	件数	面積
	件	m ²	件	m ²	件	m ²	件	m ²	件	m ²
久保	7	3,073								
中込	5	1,780								
塩ノ井	3	2,411								
北殿	61	20,552								
南殿	52	14,800							2	689
田畑	55	22,977	2	3,122	3	4,180			5	4,541
神子柴	28	14,201	6	5,856			3	289,947	2	1,759
沢尻	21	7,782					1	1,500	2	925
南原	9	3,392								
用途地域指定区域計	241	90,968	8	8,978	3	4,180	4	291,447	11	7,914
久保	11	4,183	2	2,008					1	1,669
中込										
塩ノ井	8	4,707								
北殿	32	13,271	2	3,297	2	6,774			4	1,470
南殿	9	4,745							1	2,416
田畑	9	4,365	1	1,814					1	228
神子柴	4	1,630								
沢尻	7	2,806								
南原	48	16,040	2	5,765	1	6,071	1	356	3	12,379
大芝	8	3,310			1	4,721	2	8,019	2	12,578
大泉	76	28,351	1	2,712	1	2,971			6	4,552
北原	5	1,984	2	780	2	15,850			3	54,678
用途地域指定外区域計	217	85,392	10	16,376	7	36,387	3	8,375	21	89,970
都市計画区域計	458	176,360	18	25,354	10	40,567	7	299,822	32	97,884

C0308 条例・協定

都市計画に関する条例・要綱のうち県決定は、屋外広告物条例、都市計画法に基づく開発許可等の基準に関する条例等がある。南箕輪村では、南箕輪村都市公園条例や南箕輪村都市計画審議会条例、南箕輪村景観条例等を定めている。

また、1地区で景観に関する住民協定が締結されている。

地域地区は用途地域が637ha指定されており、防火地域、準防火地域、高度利用地区、風致地区等の指定はない。

表3-7 都市計画に関する条例・要綱

(南箕輪村調査(令和5年3月31日現在))

決定主体	条例・要綱等の名称	公布・決定年月日		対象範囲	概要・主旨等
		当初	最終変更		
長野県	屋外広告物条例	H5.10.18	R4.3.24	長野県	屋外広告物法の規定に基づき、屋外広告物の表示、設置、維持並びに屋外広告業の規制に関する必要な事項を定めるもの
"	屋外広告物条例施行規則	H6.5.26	R4.3.31	"	屋外広告物条例の規定に基づき、条例の施行について必要な事項を定めるもの
"	都市計画法に基づく開発許可等の基準に関する条例	H16.3.29	R3.12.20	"	開発許可等の基準に関し必要な事項を定めるもの
"	都市計画法に基づく開発許可等の基準に関する条例施行規則	H16.6.28		"	都市計画法に基づく開発許可等の基準に関する条例の施行に関し必要な事項を定めるもの
"	都市計画法に基づく開発行為等の規制に関する規則	S46.1.28	R4.3.24	"	開発行為等の規制に関し必要な事項を定めるもの
南箕輪村	南箕輪村都市公園条例	S60.9.30	H29.6.19	南箕輪村	南箕輪村都市公園の設置、管理等に関する必要な事項を定めるもの
"	南箕輪村都市公園規則	S61.2.1	H28.7.25	"	南箕輪村都市公園条例の規定に基づき、南箕輪村都市公園の管理等に関する必要な事項を定めるもの
"	南箕輪村都市計画審議会条例	S46.12.23	H17.3.22	"	都市計画審議会設置に関する必要な事項を定めるもの
"	南箕輪村建築協定条例	H14.12.25		"	建築基準法に規定する建築物に関する協定の実施に関する必要な事項を定めるもの
"	南箕輪村建築協定条例施行規則	H14.12.25		"	南箕輪村建築協定条例の施行に関する必要な事項を定めるもの
"	南箕輪村公園条例	H17.12.20	R1.9.30	南箕輪村	南箕輪村公園の設置及び管理に関する必要な事項を定めるもの
"	南箕輪村信州大芝高原みんなの森設置条例	H17.12.20	H24.3.16	"	南箕輪村信州大芝高原みんなの森の設置及び管理に関する必要な事項を定めるもの
"	南箕輪村信州大芝高原みんなの森管理規則	H17.12.20	H24.3.30	"	南箕輪村信州大芝高原みんなの森の管理に関する必要な事項を定めるもの
"	森の交流施設設置条例	H23.9.16		"	地方自治法の規定に基づき、森の交流施設の設置及び管理について必要な事項を定めるもの
"	森の交流施設管理規則	H23.9.16		"	森の交流施設設置条例の規定に基づき、森の交流施設の管理に関し必要な事項を定めるもの
"	南箕輪村高齢者、障がい者等の移動等円滑化のために必要な特定公園施設の設置に関する基準を定める規則	H25.3.15		"	高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律に規定する移動等円滑化のために必要な特定公園施設の設置に関する基準を定めるもの
"	南箕輪村景観条例	H26.12.12		"	景観法の規定に基づき景観計画の策定、行為の規制、景観重要建造物等の指定等に関し、必要な事項を定めるもの
"	南箕輪村景観条例施行規則	H26.12.12	R1.7.1	"	景観法、景観法施行令、景観法施行規則及び南箕輪村景観条例の施行に関し、必要な事項を定めるもの

決定主体	条例・要綱等の名称	公布・決定年月日		対象範囲	概要・主旨等
		当初	最終変更		
〃	南箕輪村屋外広告物に関する規則	H12.3.21	H29.9.26	〃	屋外広告物条例等の施行について必要な事項を定めるもの
〃	南箕輪村屋外広告物違反処理要綱	H29.10.1		〃	屋外広告物法及び屋外広告物条例の規定に基づき、違反広告物等に対する除却その他必要な措置に係る手続きに関し、必要な事項を定めるもの

注) 交付金、補助金等に関する条例・要綱は除く

表3-8 住民協定一覧

(南箕輪村調査(令和5年3月31日現在))

協定の名称	決定年月日	期限	協定の内容
南原地区まちづくり景観形成住民協定	H9.3.19認定	5年間 ^注	南原地区における環境整備と景観形成に必要な事項について定め、安全で住みやすい美しいまちづくりを進めるための協定

注) 有効期間満了前に協定者の過半数に廃止の意思がないときは、さらに5年間延長し、以後も同様とする

表3-9 都市地域(用途地域)

(南箕輪村調査(令和5年3月31日現在))

用途地域指定外区域(ha)	用途地域指定区域(ha)													備考	
	総積	第一種低層住居専用地域	第二種低層住居専用地域	第一種中高層住居専用地域	第二種中高層住居専用地域	第一種住居地域	第二種住居地域	準住居地域	田園住居地域	近隣商業地域	商業地域	準工業地域	工業地域		工業専用地域
1,442	637	124		115		264		17		11		93		13	用途地域決定年月日 最終平成29年3月6日 人口総数 15,797人 (令和2年国勢調査)

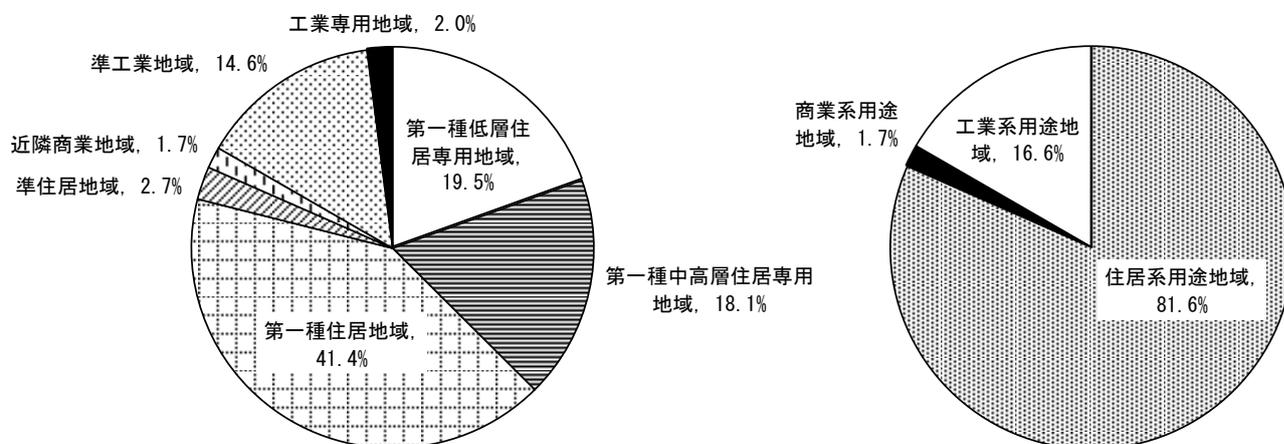


図3-7 用途地域指定区域面積構成比

④ 建物

C0401 建物用途別現況

都市計画区域における用途別の棟数比率をみると、住宅が74.4%と最も高く、次いで工場が4.6%となっている。

用途地域指定区域では、住宅が76.6%と最も高く、次いで文教厚生施設が4.3%となっている。

地区別では全ての地区で住宅が最も高い値を示している。次いで北原で工場が22.4%、大芝で文教厚生施設が20.0%、沢尻で共同住宅が14.2%となっている。

表4-1 建物用途別現況

(南箕輪村調査(令和5年3月31日現在))

区域区分	1. 業務施設			2. 商業施設					
				(1)			(2)		
	棟数	建築面積	延床面積	棟数	建築面積	延床面積	棟数	建築面積	延床面積
	棟	m ²	m ²	棟	m ²	m ²	棟	m ²	m ²
都市計画区域	213	35,660	53,017	118	37,495	58,210	52	8,783	11,260
非線引き用途地域	118	18,510	26,607	64	20,481	34,200	28	4,042	5,856
非線引き用途白地	95	17,150	26,410	54	17,014	24,010	24	4,741	5,404
区域区分	2. 商業施設								
	(3)			(4)			(5)		
	棟数	建築面積	延床面積	棟数	建築面積	延床面積	棟数	建築面積	延床面積
	棟	m ²	m ²	棟	m ²	m ²	棟	m ²	m ²
都市計画区域	35	6,285	7,211	1	114	458			
非線引き用途地域	14	1,275	1,451	1	114	458			
非線引き用途白地	21	5,010	5,760						
区域区分	2. 商業施設						3. 宿泊施設		
	(6)			(7)					
	棟数	建築面積	延床面積	棟数	建築面積	延床面積	棟数	建築面積	延床面積
	棟	m ²	m ²	棟	m ²	m ²	棟	m ²	m ²
都市計画区域	5	3,967	4,623	2	2,490	2,490	29	6,181	13,524
非線引き用途地域	1	152	305				6	1,358	4,407
非線引き用途白地	4	3,815	4,318	2	2,490	2,490	23	4,823	9,117
区域区分	4. 商業系用途複合施設			5. 住宅			6. 共同住宅		
	棟数	建築面積	延床面積	棟数	建築面積	延床面積	棟数	建築面積	延床面積
		棟	m ²	m ²	棟	m ²	m ²	棟	m ²
都市計画区域				7,348	693,015	1,012,109	334	57,096	115,751
非線引き用途地域				4,250	396,647	557,276	213	35,015	67,088
非線引き用途白地				3,098	296,368	454,833	121	22,081	48,663
区域区分	7. 店舗等併用住宅			8. 店舗等併用共同住宅			9. 作業所併用住宅		
	棟数	建築面積	延床面積	棟数	建築面積	延床面積	棟数	建築面積	延床面積
		棟	m ²	m ²	棟	m ²	m ²	棟	m ²
都市計画区域	159	18,660	29,647	12	1,846	5,758	92	10,809	16,129
非線引き用途地域	96	12,091	18,783	5	769	1,742	50	6,107	8,936
非線引き用途白地	63	6,569	10,864	7	1,077	4,016	42	4,702	7,193

区域区分	10. 官公庁施設			11. 文教厚生施設					
				(1)			(2)		
	棟数	建築面積	延床面積	棟数	建築面積	延床面積	棟数	建築面積	延床面積
	棟	m ²	m ²	棟	m ²	m ²	棟	m ²	m ²
都市計画区域	29	3,886	8,715	80	33,442	56,181	87	42,454	75,703
非線引き用途地域	23	3,526	8,284	73	27,792	47,882	80	37,420	69,581
非線引き用途白地	6	360	431	7	5,650	8,299	7	5,034	6,122

区域区分	11. 文教厚生施設								
	(3)			(4)			(5)		
	棟数	建築面積	延床面積	棟数	建築面積	延床面積	棟数	建築面積	延床面積
	棟	m ²	m ²	棟	m ²	m ²	棟	m ²	m ²
都市計画区域	48	14,251	20,461	23	5,724	8,398	4	2,664	5,115
非線引き用途地域	29	9,860	15,682	3	2,746	5,420	3	651	1,089
非線引き用途白地	19	4,391	4,779	20	2,978	2,978	1	2,013	4,026

区域区分	11. 文教厚生施設						12. 運輸倉庫施設		
	(6)			(7)			(1)		
	棟数	建築面積	延床面積	棟数	建築面積	延床面積	棟数	建築面積	延床面積
	棟	m ²	m ²	棟	m ²	m ²	棟	m ²	m ²
都市計画区域	58	25,770	28,923	40	3,559	4,180	4	172	172
非線引き用途地域	17	3,407	4,276	32	3,076	3,697	4	172	172
非線引き用途白地	41	22,363	24,647	8	483	483			

区域区分	12. 運輸倉庫施設						13. 工場		
	(2)			(3)			(1)		
	棟数	建築面積	延床面積	棟数	建築面積	延床面積	棟数	建築面積	延床面積
	棟	m ²	m ²	棟	m ²	m ²	棟	m ²	m ²
都市計画区域	203	104,591	123,237				1	35	35
非線引き用途地域	78	14,877	16,892				1	35	35
非線引き用途白地	125	89,714	106,345						

区域区分	13. 工場								
	(2)			(3)			(4)		
	棟数	建築面積	延床面積	棟数	建築面積	延床面積	棟数	建築面積	延床面積
	棟	m ²	m ²	棟	m ²	m ²	棟	m ²	m ²
都市計画区域	263	150,370	286,355	144	40,313	56,063	27	3,673	3,639
非線引き用途地域	124	54,475	89,789	62	18,003	21,956	19	1,545	1,545
非線引き用途白地	139	95,895	196,566	82	22,310	34,107	8	2,128	2,094

区域区分	13. 工場			14. 農林漁業用施設			15. 供給処理施設		
	(5)								
	棟数	建築面積	延床面積	棟数	建築面積	延床面積	棟数	建築面積	延床面積
	棟	m ²	m ²	棟	m ²	m ²	棟	m ²	m ²
都市計画区域	18	4,686	5,477	417	74,365	76,549	34	3,202	4,931
非線引き用途地域	12	2,478	2,519	125	10,258	11,048	15	2,522	4,193
非線引き用途白地	6	2,208	2,958	292	64,107	65,501	19	680	738

区域区分	16. 防衛施設			17. その他			18. 不明		
	棟数	建築面積	延床面積	棟数	建築面積	延床面積	棟数	建築面積	延床面積
	棟	m ²	m ²	棟	m ²	m ²	棟	m ²	m ²
都市計画区域				2	30	30			
非線引き用途地域									
非線引き用途白地				2	30	30			

注) 非課税分を含む

C0402 建物階数別・構造別・建築年別・高さ別現況

1) 建物階数別現況

都市計画区域における階数別の棟数比率をみると、地上1階が66.8%と最も高く、次いで地上2階が32.0%となっている。

用途地域指定区域も同様に、地上1階が72.7%と最も高く、次いで地上2階が26.2%となっている。

地区別では全ての地区で地上1階が最も高い値を示しているが、田畑、神子柴、沢尻、南原、大芝では70%以上と特に高い値を示している。

表4-2 建物階数別現況

(南箕輪村調査(令和5年3月31日現在))

区域区分	地上1階	地上2階	地上3階	地上4~5階	地上6~7階	地上8~10階	地上11~15階	地上16階以上	不明
	棟	棟	棟	棟	棟	棟	棟	棟	棟
都市計画区域	6,605	3,159	90	21	6	1			
非線引き用途地域	4,030	1,453	48	12	2	1			
非線引き用途白地	2,575	1,706	42	9	4				

注) 非課税分を含む

2) 建物構造別現況

都市計画区域における構造別の棟数比率をみると、木造が70.6%と最も高く、次いで非木造が27.5%となっている。

用途地域指定区域も同様に、木造が72.6%と最も高く、次いで非木造が25.0%となっている。

地区別では全ての地区で木造が最も高い値を示しているが、北殿、南殿、沢尻では75%以上と特に高い値を示している。

表4-3 建物構造別現況

(南箕輪村調査(令和5年3月31日現在))

区域区分	木造	非木造	鉄筋コンクリート造
	棟	棟	棟
都市計画区域	6,977	2,716	189
非線引き用途地域	4,028	1,386	132
非線引き用途白地	2,949	1,330	57

注) 非課税分を含む

3) 建物建築面積現況

都市計画区域における建築面積別の棟数比率をみると、150㎡以下が29.0%と最も高く、次いで50㎡以下が24.9%、75㎡以下が23.8%となっており、平均面積は141㎡となっている。

用途地域指定区域も同様に、150㎡以下が29.6%と最も高く、次いで50㎡以下が26.4%、75㎡以下が22.5%となっており、平均面積は124㎡となっている。

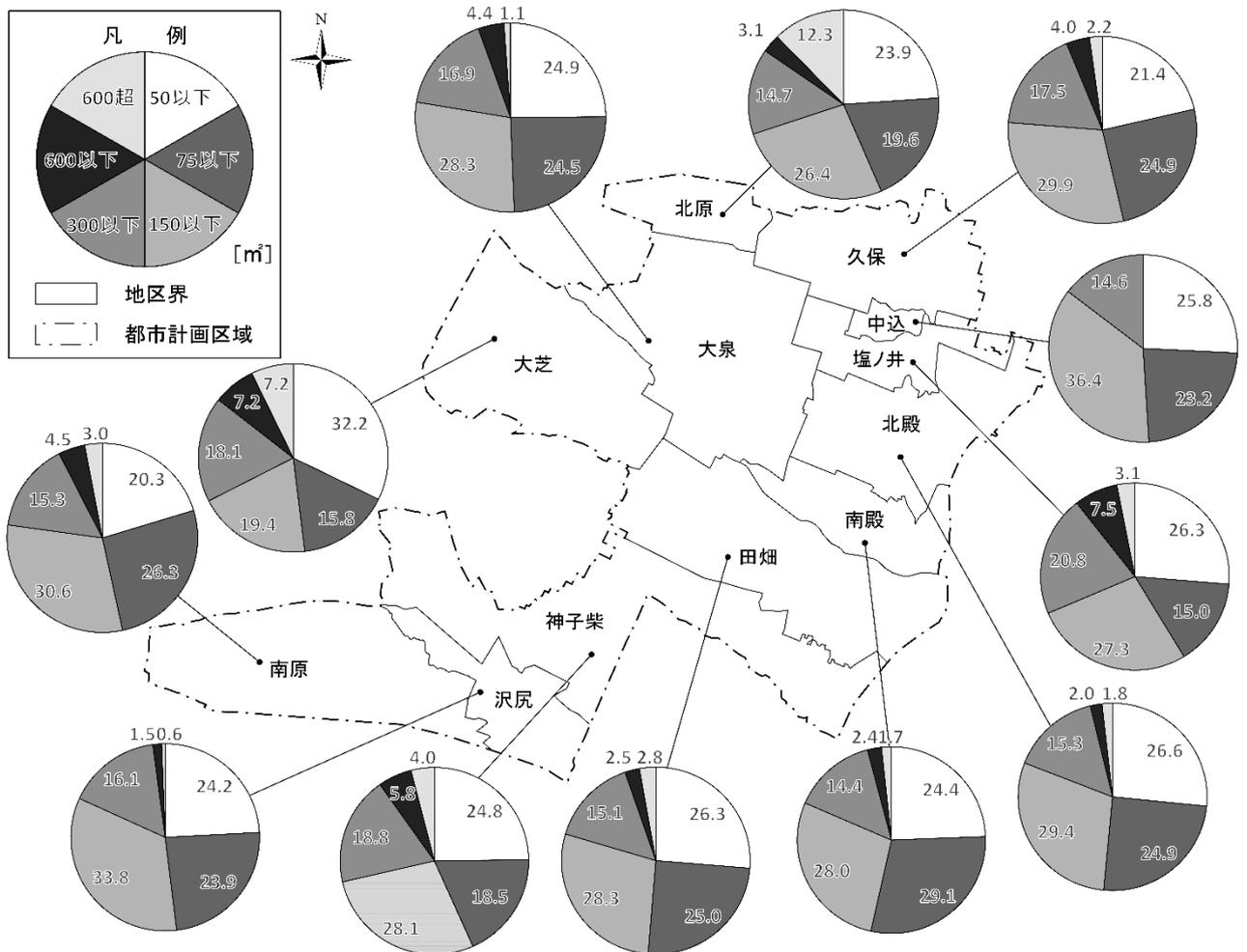
地区別ではほとんどの地区で150㎡以下が最も高い値を示しているが、南殿では75㎡以下が29.1%と最も高く、大芝では50㎡以下が32.2%と最も高くなっている。

表4-4 建物建築面積現況

(南箕輪村調査(令和5年3月31日現在))

区域区分	50㎡以下	75㎡以下	150㎡以下	300㎡以下	600㎡以下	600㎡超	不明	合計面積	平均面積
	棟	棟	棟	棟	棟	棟			
都市計画区域	2,458	2,349	2,867	1,610	347	251		1,395,616	141
非線引き用途地域	1,462	1,248	1,639	941	167	89		689,419	124
非線引き用途白地	996	1,101	1,228	669	180	162		706,197	162

注) 非課税分を含む



4) 建物延床面積現況

都市計画区域における延床面積別の棟数比率をみると、150㎡以下が35.5%と最も高く、次いで300㎡以下が21.9%、50㎡以下が20.6%となっており、平均面積は211㎡となっている。

用途地域指定区域も同様に、150㎡以下が35.5%と最も高く、次いで300㎡以下が22.3%、50㎡以下が21.8%となっており、平均面積は185㎡となっている。

地区別ではほとんどの地区で150㎡以下が最も高い値を示しているが、塩ノ井では300㎡以下が23.2%と最も高く、大芝では50㎡以下が30.9%と最も高くなっている。

表4-5 建物延床面積現況

(南箕輪村調査(令和5年3月31日現在))

区域区分	50㎡以下	75㎡以下	150㎡以下	300㎡以下	600㎡以下	600㎡超	不明	合計面積	平均面積
	棟	棟	棟	棟	棟	棟			
都市計画区域	2,038	905	3,504	2,163	861	411		2,094,382	211
非線引き用途地域	1,207	527	1,970	1,234	440	168		1,031,186	185
非線引き用途白地	831	378	1,534	929	421	243		1,063,196	245

注) 非課税分を含む

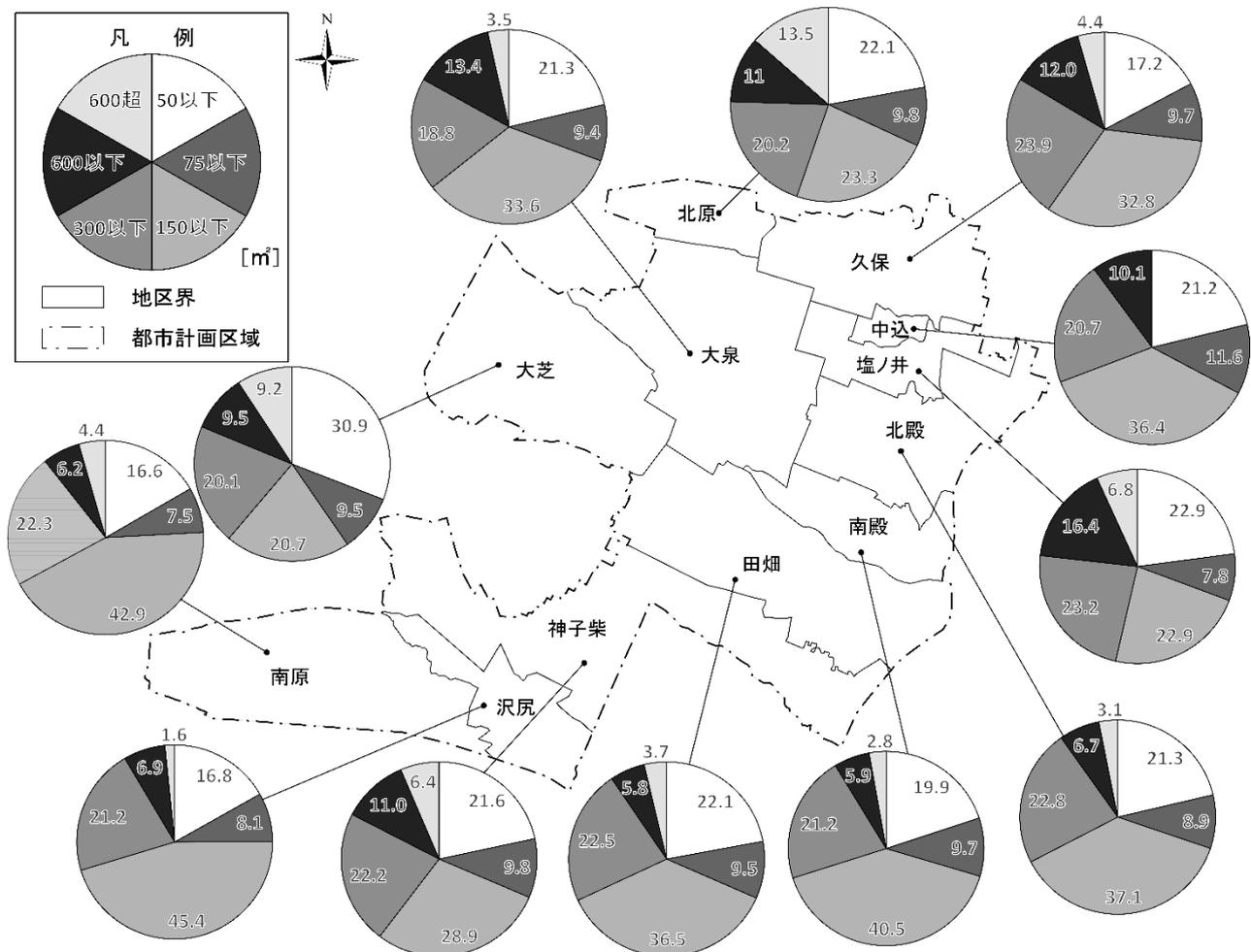


図4-2 地区別延床面積構成比

5) 建物建築年現況

都市計画区域における建物建築年現況は、昭和56年以前が2,950棟と全体の29.9%を占めている。

地区別では、建物建築年が昭和56年以前の建物の割合が中込で50.0%と最も高く、続いて塩ノ井が42.7%、大泉が34.4%となっている。都市計画区域の北部では築年数が古い建物の割合が高く、南部では築年数が浅い建物の割合が高い。

表4-6 建物建築年現況

(南箕輪村調査(令和5年3月31日現在))

区域区分	昭和56年以前			昭和57年～昭和62年			昭和63年～平成9年		
	棟数	建築面積	延床面積	棟数	建築面積	延床面積	棟数	建築面積	延床面積
	棟	m ²	m ²	棟	m ²	m ²	棟	m ²	m ²
都市計画区域	2,950	404,512	547,520	1,002	188,630	326,444	1,903	273,832	445,329
非線引き用途地域	1,899	249,220	341,038	601	100,041	171,849	1,084	129,783	198,595
非線引き用途白地	1,051	155,292	206,482	401	88,589	154,595	819	144,049	246,734

区域区分	平成10年～平成19年			平成20年～平成29年			平成30年～		
	棟数	建築面積	延床面積	棟数	建築面積	延床面積	棟数	建築面積	延床面積
	棟	m ²	m ²	棟	m ²	m ²	棟	m ²	m ²
都市計画区域	1,276	158,254	252,817	1,189	122,135	190,108	574	115,428	157,333
非線引き用途地域	676	76,989	117,689	503	45,340	75,789	282	38,103	51,028
非線引き用途白地	600	81,265	135,128	686	76,795	114,319	292	77,325	106,305

区域区分	不明		
	棟数	建築面積	延床面積
	棟	m ²	m ²
都市計画区域	988	132,819	174,824
非線引き用途地域	501	49,939	75,194
非線引き用途白地	487	82,880	99,630

注) 非課税分を含む

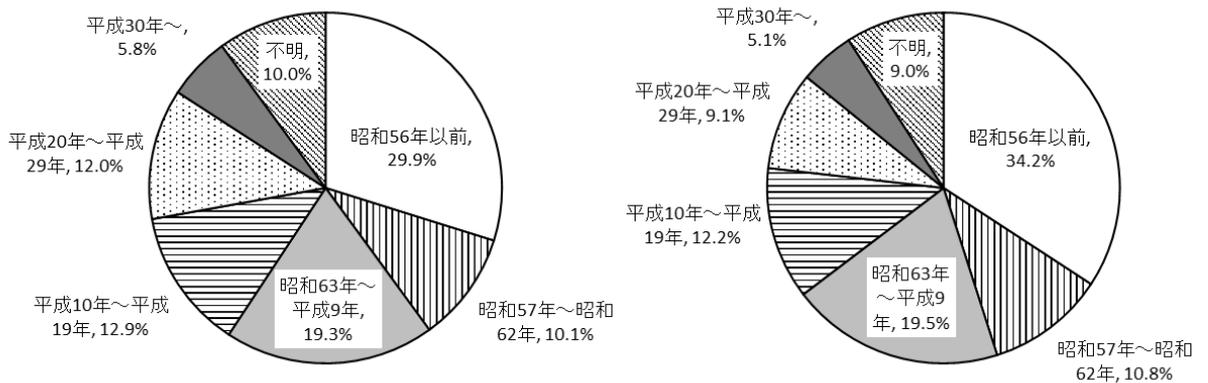


図4-3 建物建築年別構成比 (都市計画区域・用途地域指定区域)

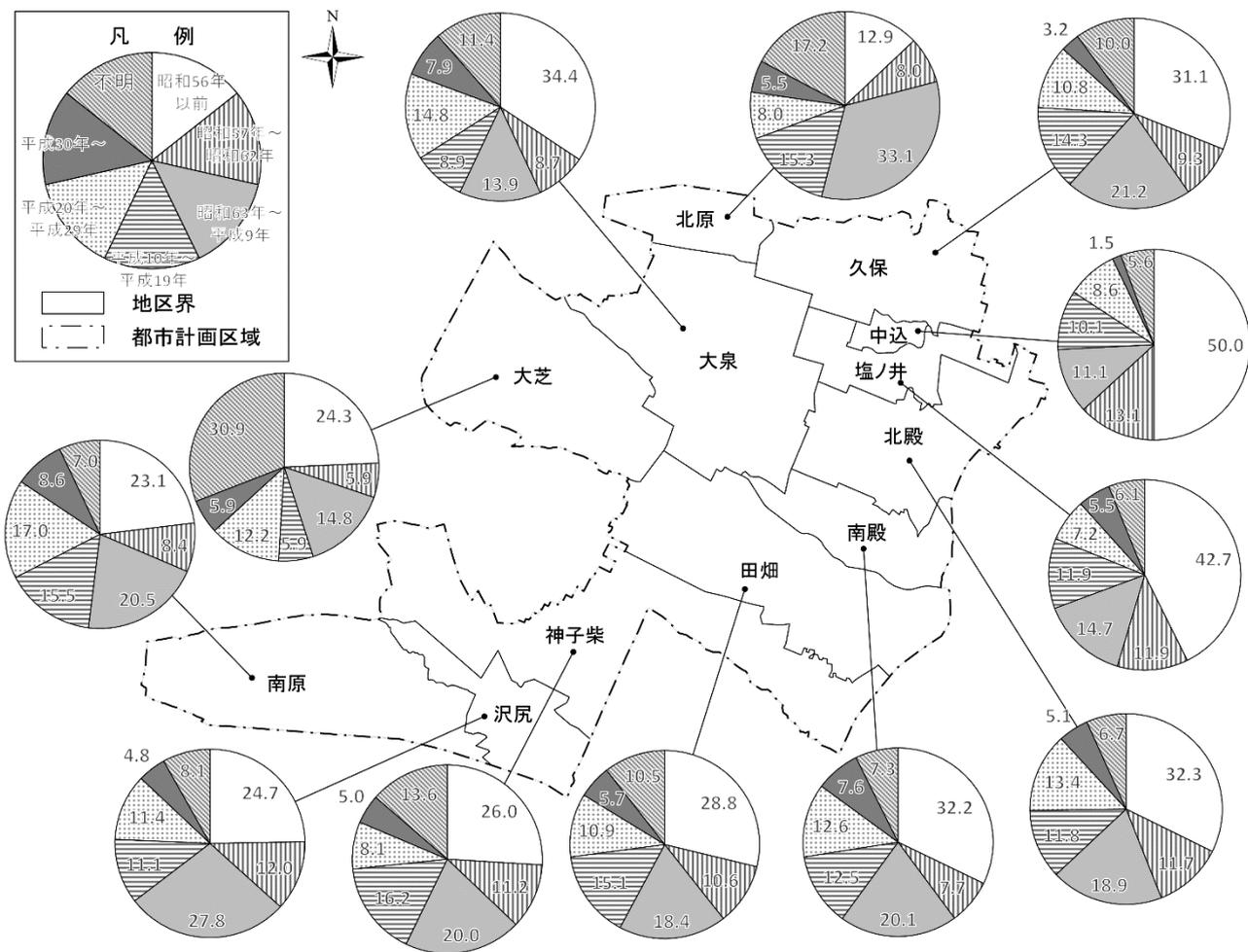


図4-4 地区別建築年構成比

6) 建物高さ現況

都市計画区域における高さ別の棟数比率をみると、10m以下が99.1%と最も高くなっている。用途地域指定区域も同様に、10m以下が99.3%と最も高くなっている。地区別では全ての地区で10m以下が95%以上と最も高くなっている。

表4-7 建物高さ現況

(南箕輪村調査(令和5年3月31日現在))

区域区分	5m以下	10m以下	12m以下	15m以下	20m以下	25m以下	30m以下	35m以下	40m以下	45m以下	45m超	不明
	棟	棟	棟	棟	棟	棟	棟	棟	棟	棟	棟	棟
都市計画区域	55	9,794	1	19	9	3	1					
非線引き用途地域	25	5,506		10	4		1					
非線引き用途白地	30	4,288	1	9	5	3						

注) 非課税分を含む

⑤ 都市施設

C0501 都市施設の位置・内容等

南箕輪村の道路は10路線が都市計画決定されており、総延長42,060m(うち村分20,250m)、整備率25.9%となっている。

都市計画公園は4箇所が計画決定されており、全てが開設済みである。

その他の都市施設としては、公共下水道や伊那中央衛生センター、新ごみ中間処理施設が計画決定されている。

表5-1 都市施設の整備状況

(南箕輪村調査(令和5年3月31日現在))

決定年月日	都市施設名称	都市計画決定事項			事業期間	備考
	【都市計画道路】	幅員(m)	延長(m)	()内は村分 変更内容		
S53. 1. 19	3・3・1 環状北線	22	8,370	(1,900)		改良済延長 1,440m
H30. 2. 22		22	7,130	(1,900) 起終点の変更等		
S53. 1. 19	3・3・2 環状南線	22	11,130	(3,950)		
S53. 1. 30	3・4・3 名古屋塩尻線	16	8,750	(4,820)		
S53. 1. 19	3・4・9 塩ノ井線	16	1,420	(上川原中込線)		
H29. 3. 6		16	320	名称、起終点の変更等		
S53. 1. 19	3・4・10 北殿下段線	16	3,930	(神子柴久保下段線)		
H29. 3. 6		16	120	名称、起終点の変更等		
S53. 1. 19	3・5・19 久保北殿線	12	5,260	(神子柴久保上段線)		
H29. 3. 6		12	1,460	名称、起終点の変更等		
S53. 1. 19	3・5・21 田畑大芝線	12	2,410		H元年度～H6年度	改良済延長 1,720m
H29. 3. 6		12	2,410	起終点の変更等		
S53. 1. 19	3・5・23 北殿大泉線	12	3,610			改良済延長 1,120m
"	3・5・24 久保線	12	700			
H29. 3. 6		12	700	車線数の決定		
H 8. 7. 11	3・3・32 伊那バイパス線	28	6,430	(960)	H18年度～H22年度	概成済延長(暫定2車線) 960m
	【都市計画公園】	面積(ha)				
S53. 1. 5	5・6・2 大芝公園	51.60			S47年度～H17年度	開設済面積 51.60ha
H 4. 11. 30						
S59. 10. 11	2・2・1 田畑児童公園	0.18			S59年度	開設済面積 0.18ha
S63. 12. 12	2・2・2 神子柴公園	0.23			S63年度～H元年度	" 0.23ha
"	2・2・3 大泉公園	0.10			"	" 0.10ha
	【公共下水道】	全体計画区域面積(ha)				
H 4. 11. 30		751			事業認可H 5. 2. 1	
H24. 3. 15		986			事業認可H24. 3. 12	
H 4. 11. 30	南箕輪村浄化センター	7.51ha				整備済
	【汚物処理場】	面積(ha)				
S53. 9. 11	伊那中央衛生センター	0.9				※
	【ごみ焼却場】	面積(ha)				
H27. 1. 23	新ごみ中間処理施設	2.5				※

注) 「※」は計画決定のみで当該村に施設は存在しない

⑥ 交通

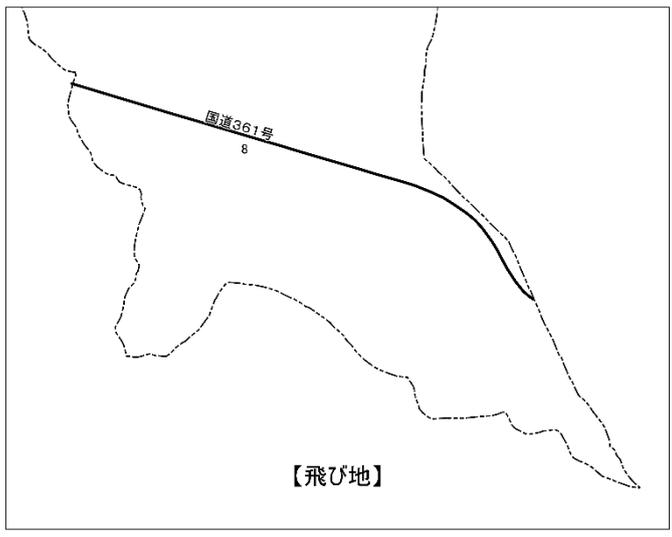
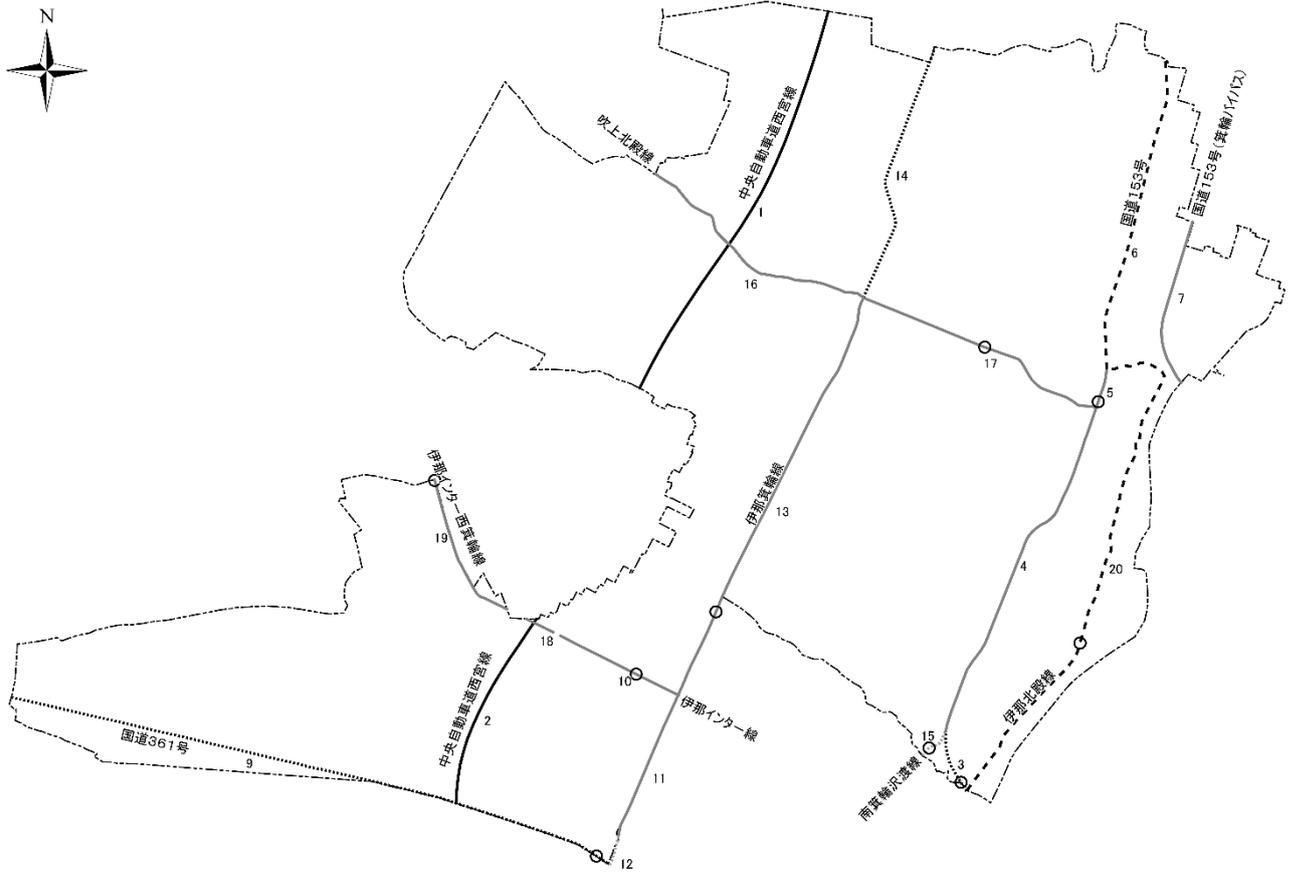
C0601 主要な幹線の断面交通量・混雑度・旅行速度

令和3年の断面交通量のうち、17,000台/12hを超える路線は中央自動車道のみで、伊北インターチェンジ・伊那インターチェンジ間で18,622台/12h、伊那インターチェンジ・小黒川スマートインターチェンジ間で17,343台/12hとなっている。10,000台/12hを超える路線は、一般国道153号、一般国道153号（箕輪バイパス）となっている。

また、混雑時平均旅行速度は一般国道153号の一部、主要地方道伊那インター線、主要地方道伊那箕輪線の一部、一般県道南箕輪沢渡線、一般県道吹上北殿線、一般県道伊那インター西箕輪線で30.0km/hを下回っている。特に一般県道南箕輪沢渡線で14.7km/hと最も低くなっている。

表6-1 主要道路断面交通量・混雑度・旅行速度 (令和3年度全国道路・街路交通情勢調査)

路線名	観測地点名	平日 12時間 交通量 台	平日 24時間 交通量 台	大型車 混入率 %	混雑度	混雑時平均 旅行速度 km/h	位置図 対応 番号
中央自動車道西宮線	伊北～伊那	18,622	29,160	32.2	0.37	91.5	1
	伊那～小黒川スマート	17,343	27,499	34.3	0.49	90.9	2
一般国道153号	伊那市山寺128（水神橋西）	11,824	14,833	8.7	1.14	39.1	3
		10,762 (推定値)	14,206 (推定値)	5.9 (推定値)	1.38	27.5	4
	上伊那郡南箕輪村3469	10,678	13,561 (推定値)	5.8	0.93	23.0	5
		10,678	13,561 (推定値)	5.8	0.93	33.5	6
	上伊那郡箕輪町木下11535（木下南新町）	10,437	13,881 (推定値)	4.8	1.14	25.8	7
一般国道361号		3,697 (推定値)	4,769 (推定値)	15.3 (推定値)	0.60	66.9	8
	伊那市荒井3801-20	4,881	6,199 (推定値)	5.2	0.51	43.8	9
伊那インター線	上伊那郡南箕輪村8302-2	9,436	12,550 (推定値)	4.2	0.40	25.0	10
伊那箕輪線	上伊那郡南箕輪村神子柴8142-1	9,927	11,770	5.4	0.99	23.6	11
		9,927	11,770	5.4	1.19	19.5	12
		9,927	11,770	5.4	0.99	27.6	13
		9,927	11,770	5.4	0.99	42.1	14
南箕輪沢渡線	上伊那郡南箕輪村神子柴7799-4	3,060	3,716	6.1	0.39	14.7	15
吹上北殿線	上伊那郡南箕輪村2998-3	2,915	3,585 (推定値)	2.3	0.31	23.8	16
		2,915	3,585 (推定値)	2.3	0.31	29.9	17
伊那インター西箕輪線	伊那市西箕輪6640	4,194	4,948	6.5	0.15	27.7	18
		4,194	4,948	6.5	0.64	23.5	19
伊那北殿線	上伊那郡南箕輪村6275-1	2,047	2,559 (推定値)	5.6	0.34	35.5	20



凡 例	
混雑時平均旅行速度(平日、km/h)	
.....	20.0未満
————	20.0~29.9
- - - - -	30.0~39.9
.....	40.0~49.9
————	50.0以上
○	観測地点
———	起終点
1	調書番号
- - - - -	行政区画

図 6 - 1 混雑時平均旅行速度分布図

C0603 鉄道・路面電車等の状況

南箕輪村内のJR駅は北殿駅及び田畑駅がある。乗降客数の推移をみると、北殿駅では平成21年が660人と最も多かったが、近年は減少傾向となっている。田畑駅も減少傾向の状態が続いており、令和3年の乗降客数は236人となっている。

表6-2 駅乗降人員（一日平均）

（国土数値情報 駅別乗降客数データ(令和5年3月31日現在)）

年次	北殿	田畑
平成19年	628人	274人
平成20年	630	280
平成21年	660	268
平成22年	538	264
平成23年	542	276
平成24年	526	280
平成25年	562	280
平成26年	570	274
平成27年	588	306
平成28年	非公開	非公開
平成29年	非公開	非公開
平成30年	非公開	非公開
令和元年	563	304
令和2年	534	251
令和3年	510	236

注) 一日平均乗降人員は、一日平均乗車人員を2倍して求めた

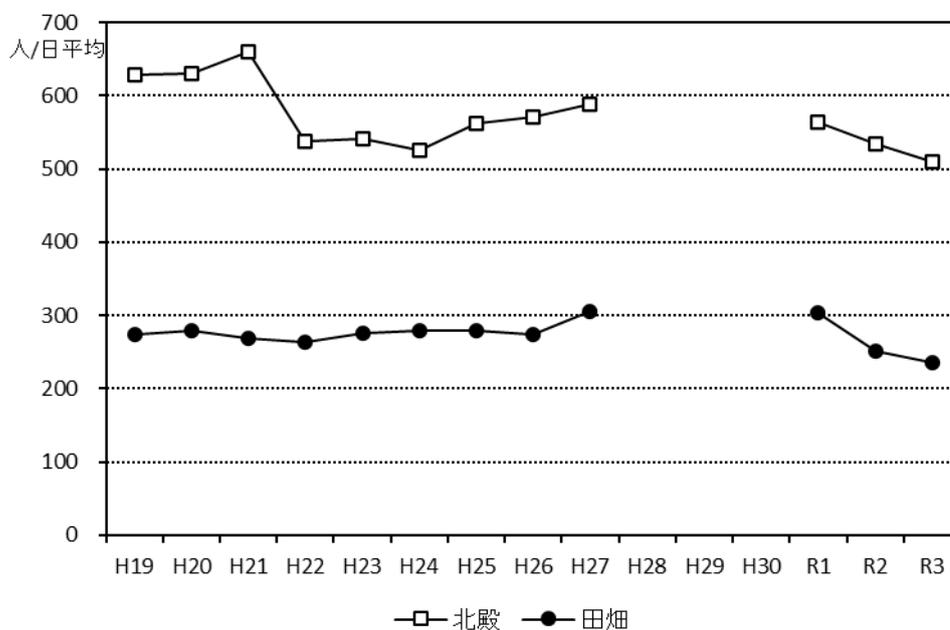


図6-2 駅乗降人員（一日平均）推移

C0604 バスの状況

バスの状況は村内4コースを巡回するまっくんバスと、伊那市、箕輪町、南箕輪村の3市町村を結ぶ伊那本線、南箕輪村を横断する伊那市の西箕輪線が運行しており、高齢者をはじめ村民の足としての役割を担っている。

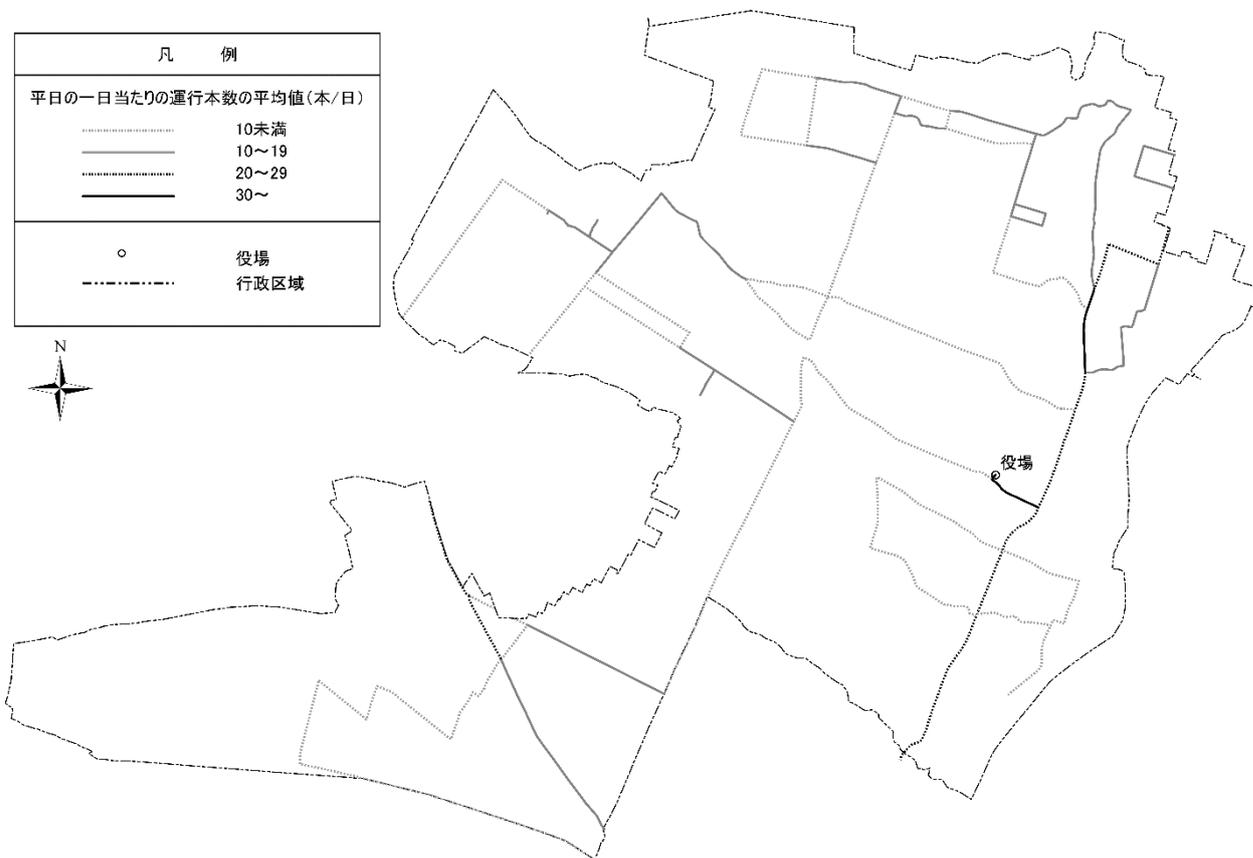


図6-3 バス路線図 (南箕輪村調査(令和5年3月31日現在))

⑧ 自然的環境等

C0803 緑の状況

都市計画区域内の緑の状況を見ると、農地が917.5haと最も多く、続いて樹林地が209.3haとなっている。

用途地域指定区域についても、農地が115.3haと最も多く、続いて樹林地が99.5haとなっている。

表8-1 緑の状況

(南箕輪村調査(令和5年3月31日現在))

	ha	緑被地面積			水面面積 ha
		樹林地 ha	草地 ha	農地 ha	
非線引き用途地域	241.5	99.5	26.7	115.3	2.9
非線引き用途白地	963.2	109.8	51.2	802.2	16.5
合計	1,204.7	209.3	77.9	917.5	19.4